Graduate School of Literature

# ２０２７年度 青山学院大学
# 大学院学生募集要項

## 文 学 研 究 科

## 博士前期課程・博士後期課程

英米文学専攻

フランス文学・語学専攻

日本文学・日本語専攻

史学専攻

比較芸術学専攻

## 青山学院教育方針

青山学院の教育は
キリスト教信仰にもとづく教育をめざし、
神の前に真実に生き
真理を謙虚に追求し
愛と奉仕の精神をもって
すべての人と社会とに対する責任を
進んで果たす人間の形成を目的とする。

## 青山学院大学の理念

青山学院大学は、「青山学院教育方針」に立脚した、
神と人とに仕え社会に貢献する
「地の塩、世の光」としての教育研究共同体である。
本学は、地球規模の視野にもとづく正しい認識をもって
自ら問題を発見し解決する知恵と力をもつ人材を育成する。
それは、人類への奉仕をめざす自由で幅広い学問研究を通してなされる。
本学のすべての教員、職員、学生は、
相互の人格を尊重し、建学以来の伝統を重んじつつ、
おのおのの立場において、時代の要請に応えうる大学の創出に努める。

# 目　次

青山学院教育方針・青山学院大学の理念----------1
ｱﾄﾞﾐｯｼｮﾝﾎﾟﾘｼｰ（入学者受入れの方針）・教育研究上の目的・ｶﾘｷｭﾗﾑﾎﾟﾘｼｰ（教育課程編成・実施の方針）・
ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏﾎﾟﾘｼｰ（修了認定・学位授与の方針）・合否判定の方法および基準---------- 3･4･5
沿革・役職員・学位 ----------6

**博士前期課程** 〈博士前期課程入試（秋）〉〈博士前期課程入試（春）〉
（英米文学専攻、フランス文学・語学専攻、日本文学･日本語専攻、史学専攻、比較芸術学専攻）
募集人員・出願手続・出願資格・出願書類・入学検定料 ----------7
入学試験日・合格発表日・試験科目・試験時間割 ----------19
試験についての注意事項・合格発表・入学手続 ----------24
教員組織（博士前期課程） ----------25
青山学院大学大学院特別給付奨学金 ----------30

**博士後期課程** 〈一般入試〉
（英米文学専攻、フランス文学・語学専攻、日本文学･日本語専攻、史学専攻、比較芸術学専攻）
募集人員・出願手続・出願資格・出願書類・入学検定料 ----------31
入学試験日・合格発表日・試験科目・試験時間割 ----------38
青山学院大学若手研究者育成奨学金 ----------41
教員組織 ----------42

**博士前期課程・博士後期課程　全専攻共通事項**
学費等・授業料後払い制度について----------45・46
入学辞退願提出について・英米文学専攻志願者への注意事項 ----------46
一般的注意事項・不正行為について・授業実施キャンパス・授業時間について ----------47

個人情報の取扱いについて

出願に際してお知らせいただいた住所、氏名、電話番号、生年月日等の個人情報は、①出願受付、②入学試験実施、③合格発表、④入学手続とこれに付随する業務を行うために利用します。

## アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

### 英米文学専攻

知識・技能

英語圏の言語・文学・文化・コミュニケーション、および英語教育学に関する同時代的かつ歴史的な研究を行い、人文学の伝統的な教養と批判精神を身につけて社会に貢献するとともに、国際社会にも貢献する意欲を有している。

英語圏の言語・文学・文化・コミュニケーション、および英語教育学に関する同時代的かつ歴史的な研究を行うのに必要な基礎的学力・学問的手続きの運用能力を有している。

思考力・判断力・表現力

英語圏の言語・文学・文化・コミュニケーション、および英語教育学に関する思考や造詣を英語で表現することができる。

意欲・関心・態度

英語圏の言語・文学・文化・コミュニケーション、および英語教育学に関する研究を通して、生活や文化、価値観、考え方の違う世界の人々との共生により社会に貢献する意欲を持ち、学問を社会に還元する意思を持っている。

### フランス文学・語学専攻

知識・技能

フランス語を運用するための基礎的な技能を身に付けている。

フランス文学ないしフランス語学に関する基礎的な知識を有している。

第二外国語（英語）の基礎的な運用能力を有している。

思考力・判断力・表現力

フランス文学ないしフランス語学の基礎的な問題に関して、自らの考えを秩序立てて説得的に表現することができる。

意欲・関心・態度

フランス文学ないしフランス語学に関心を持ち、専門的な研究に取り組む意欲がある。

### 日本文学・日本語専攻

知識・技能

日本文学、日本語学、日本語教育学、中国古典文学（漢文学）の基本的知識を総合的・体系的に習得している。

思考力・判断力・表現力

専門的なテーマに関する情報収集・読解・分析・発表・討論を行うための論理的思考力、問題発見力、日本語の高い読解・表現能力を有している。

意欲・関心・態度

日本文学、日本語学、日本語教育学、中国古典文学（漢文学）に対して深い関心を持ち、その理解と研究を通じて人間の真実を探究し、社会に貢献しようとする高い意欲を持っている。

### 史学専攻

知識・技能

大学卒業相当の歴史学や考古学の知識を有し、専攻分野で必要とされる言語や古文書などの読解や分析の能力を有している。

思考力・判断力・表現力

研究論文（卒業論文など）において、歴史学や考古学についての知見や関心を論理的に表現することができる。

意欲・関心・態度

歴史学や考古学への関心をもとに、変化する世界の情勢や文化、人間と社会についての歴史的な理解を深めようとし、専攻分野について研究意欲を有している。

比較芸術学専攻

知識・技能

美術史学・音楽学・演劇映像学という芸術学各領域の諸問題に関して大学卒業相当の専門的知識を有している。

専攻分野で必要とされる言語や関連史・資料などを読解・分析する能力を有している。

思考力・判断力・表現力

研究論文（卒業論文など）において、古典芸術諸領域（美術・音楽・演劇映像）についての知見や関心を論理的に表現することができる。

意欲・関心・態度

日本・東洋・西洋の古典的芸術に対する探究心を持ち、研究を通じて個々の資質を高めるとともに、異なる文化的背景や生活体験を持つ人々を理解し、それらの人々と協働して社会や芸術文化の進展に貢献する意欲を有している。

各専攻の「教育研究上の目的」、「カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）」、「ディプロマポリシー（修了認定・学位授与の方針）」は以下の本学 Web サイトに掲載しています。

英米文学専攻　https://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_literature/english/policy.html

フランス文学・語学専攻　https://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_literature/french/policy.html

日本文学・日本語専攻　https://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_literature/japanese/policy.html

史学専攻　https://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_literature/history/policy.html

比較芸術学専攻　https://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_literature/comparative_arts/policy.html

**合否判定の方法および基準**

**英米文学専攻**

博士前期課程：

提出書類、筆記試験（英語、専門知識）、卒業論文審査および面接により、アドミッションポリシーで定める知識・技能、思考力・判断力・表現力、意欲・関心・態度を多面的・総合的に評価し、合否を判定します。

博士後期課程：

提出書類、筆記試験（英語、第二外国語、専門知識）、修士論文審査および面接により、アドミッションポリシーで定める知識・技能、思考力・判断力・表現力、意欲・関心・態度を多面的・総合的に評価し、合否を判定します。

**フランス文学・語学専攻**

博士前期課程・博士後期課程共通：

提出書類、筆記試験、論文審査および面接により、アドミッションポリシーで定める入学志願者の知識・技能、思考力・判断力・表現力、意欲・関心・態度を総合的に評価し、合否を判定します。

**日本文学・日本語専攻**

博士前期課程：

提出書類、筆記試験（専門知識・語学)、卒業論文（あるいは研究計画書)、口述試験により、アドミッションポリシーで定める知識・技能、思考力・判断力・表現力、意欲・関心・態度を多面的・総合的に評価し、合否を判定します。

博士後期課程：

提出書類、筆記試験（専門知識・語学)、修士論文、口述試験により、アドミッションポリシーで定める知識・技能、思考力・判断力・表現力、意欲・関心・態度を多面的・総合的に評価し、合否を判定します。

**史学専攻**

博士前期課程・博士後期課程共通：

提出書類、筆記試験（語学、専門知識)、口述試験により、入学志願者の歴史学や考古学の知識、歴史的思考力、論理的表現力、意欲を多面的・総合的に評価・判定します。

**比較芸術学専攻**

博士前期課程：

入学志願者の知識・技能・能力・思考力・判断力・表現力・意欲・関心・態度が、比較芸術学博士前期課程における学び・研究を遂行しうる水準であるかを総合的に評価・判定します。

博士後期課程：

入学志願者の知識・技能・能力・思考力・判断力・表現力・意欲・関心・態度が、比較芸術学博士後期課程における学び・研究を遂行しうる水準であるかを総合的に評価・判定します。

**沿革**

1952 年 4 月　大学院を開設し、文学研究科(英米文学専攻修士課程)を設置

1955 年 4 月　文学研究科聖書神学専攻「修士課程」設置

1958 年 4 月　文学研究科心理学専攻「修士課程」設置

1959 年 4 月　文学研究科聖書神学思想専攻、英米文学専攻「博士課程」設置

1963 年 4 月　文学研究科教育学専攻「修士課程」及び「博士課程」設置

1966 年 4 月　文学研究科フランス文学・語学専攻「修士課程」及び「博士課程」設置

1970 年 4 月　文学研究科日本文学・日本語専攻「修士課程」設置

1972 年 4 月　文学研究科日本文学・日本語専攻「博士課程」設置、史学専攻「修士課程」設置

1974 年 4 月　文学研究科心理学専攻、史学専攻「博士課程」設置

1976 年 3 月　文学研究科聖書神学専攻「修士課程」廃止

1981 年 3 月　文学研究科聖書神学専攻「博士課程」廃止

1984 年 4 月　大学院学則を改正し、「修士課程」を「博士前期課程」に、「博士課程」を「博士後期課程」に変更

1994 年 4 月　文学研究科教育学専攻博士前期課程及び心理学専攻博士前期課程に授業科目昼夜開講を実施

1997 年 4 月　文学研究科英米文学専攻博士前期課程で授業科目昼夜開講を実施

2009 年 4 月　文学研究科教育学専攻及び心理学専攻（各博士前期課程及び博士後期課程）を改組し、教育人間科学研究科（教育学専攻及び心理学専攻（各博士前期課程、博士後期課程））を設置

2013 年 4 月　文学研究科比較芸術学専攻「博士前期課程」及び「博士後期課程」設置

2022 年 4 月　文学研究科英米文学専攻博士後期課程で授業科目昼夜開講を実施

文学研究科史学専攻（博士前期課程および博士後期課程））で授業科目昼夜開講を実施

**役職員**（2026 年 6 月現在）

| | |
|---|---|
| 学　長 | 稲　積　宏　誠 |
| 文学研究科長 | 小　林　和　幸 |
| 英米文学専攻主任 | 結　城　正　美 |
| フランス文学・語学専攻主任 | 井　田　　尚 |
| 日本文学・日本語専攻主任 | 韓　　京　子 |
| 史学専攻主任 | 二　宮　文　子 |
| 比較芸術学専攻主任 | 津　田　徹　英 |

**学位**

文学研究科

| | | |
|---|---|---|
| 英米文学専攻 | 修士（文学） | 博士（文学）又は博士（学術） |
| フランス文学・語学専攻 | 修士（文学） | 博士（文学） |
| 日本文学・日本語専攻 | 修士（文学） | 博士（文学） |
| 史学専攻 | 修士（歴史学） | 博士（歴史学） |
| 比較芸術学専攻 | 修士（比較芸術学） | 博士（比較芸術学） |

# 博士前期課程
## ＜博士前期課程入試（秋）＞・＜博士前期課程入試（春）＞

## 募集人員

| | |
|---|---|
| 英米文学専攻 | 20名（博士前期課程入試（秋）および（春）を対象とする） |
| フランス文学・語学専攻 | 6名（博士前期課程入試（秋）および（春）を対象とする） |
| 日本文学・日本語専攻 | 6名（博士前期課程入試（秋）および（春）を対象とする） |
| 史学専攻 | 8名（博士前期課程入試（秋）および（春）を対象とする） |
| 比較芸術学専攻 | 6名（博士前期課程入試（秋）および（春）を対象とする） |

## 出願手続

**願書受付期間**

**秋季（2026年10月）実施分：2026年9月 7日(月)～9月 9日(水)（受付最終日消印有効）**

**春季（2027年 2月）実施分：2027年1月 6日(水)～1月 8日(金)（受付最終日消印有効）**

**※海外から郵送の場合は、出願期間内に到着するようお願いします。**

1. 出願は、**すべて郵送受付とします**。
   出願の際は、出願書類および入学検定料の「収納証明書」を角形2号封筒（240×332㎜）に入れ、郵便局窓口で簡易書留･速達郵便扱いの手続きをして郵送してください。
   封筒の表には、必要事項を記入した所定の出願用封筒表紙（本学所定用紙）を貼付してください。
2. 出願受付後、受験票を本人宛にお送りします。
   受付事務・郵便事情等により受験票の返送が多少遅れることがあります。なお、入学試験日の３日前までに受験票が未着の場合は学務部教務課（文学研究科担当）に問い合わせてください。
3. 出願書類は、黒のボールペンで記入してください。（消せるペンは不可）
4. **一旦受け付けた出願書類、入学検定料は返還しません。**
5. 書類・入学検定料不備のものおよび受付最終日を過ぎた消印のものは受理せず返送します。
6. 授業料後払い制度の利用を希望する方（外国人留学生（在留資格が「留学」の方）は申請対象外）は、出願期間中に授業料納付猶予手続きを取ってください。詳細は、46ページ掲載の申請要項のURLもしくはQRコードを参照ください。※外国人留学生（在留資格が「留学」の方）及び博士後期課程を志願する方は申請対象外です。

## 出願資格

各専攻における募集対象（A 一般、B 社会人向け、C 内部進学、D 英語資格取得者、E ｸﾚｼﾞｯﾄ・ﾄﾗﾝｽﾌｧｰ）の一覧について　本院の博士前期課程入試では、専攻により下表の出願資格者を募集いたします。

| 実施時期 / 専攻 | 博士前期課程入試（秋） | 博士前期課程入試（春） |
|---|---|---|
| 英米文学 | A 一般<br>B 社会人向け<br>D 英語資格取得者 | A 一般<br>C 内部進学<br>D 英語資格取得者 |
| フランス文学・語学 | A 一般<br>C 内部進学 | A 一般 |
| 日本文学・日本語 | A 一般<br>B 社会人向け<br>C 内部進学 | A 一般<br>C 内部進学<br>E ｸﾚｼﾞｯﾄ・ﾄﾗﾝｽﾌｧｰ |
| 史学 | A 一般<br>B 社会人向け<br>C 内部進学 | A 一般<br>C 内部進学 |
| 比較芸術 | A 一般<br>C 内部進学 | A 一般<br>C 内部進学 |

出願資格は以下の A～E を設けています。入学志願票および写真票の該当する出願資格に〇をしてください。専攻により、また出願資格により、実施時期が異なります。詳細は以下、出願資格 A～E の（募集している専攻と実施時期）を確認してください。

【Ａ：一般】（募集している専攻と実施時期：全専攻（秋）および（春））
下記のいずれかに該当する者。

1. 大学を卒業した者及び 2026 年度 3 月卒業見込みの者
2. 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び 2026 年度 3 月取得見込みの者
3. 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2026 年度 3 月修了見込みの者
4. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2026 年度 3 月修了見込みの者
5. 日本において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び 2026 年度 3 月修了見込みの者
6. 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けたものによる評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が 3 年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び 2026 年度 3 月までにその見込みの者
7. 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び 2026 年度 3 月修了見込みの者
8. 文部科学大臣の指定した者
9. 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時に 22 歳に達した者（注意 1 参照）

【Ｂ：社会人向け】（募集している専攻と実施時期：英米文学（秋）、日本文学・日本語（秋）、史学（秋））

下表のとおり、社会人向けの出願資格に対して受験科目の一部が免除される場合があります。

| 専攻・免除科目 | 社会人向け入試の出願資格 |
|---|---|
| 英米文学<br>免除される試験：<br>なし | 次のⅠ～Ⅲのいずれかに該当する者<br>Ⅰ．下記 1～8 のいずれかに該当し注）、既に定職に就いている者<br>注）2026 年度 3 月までに該当する見込みの者を含む<br>Ⅱ．下記 1～8 のいずれかに該当し、該当時から入学時までに５年を経過した者<br>Ⅲ．下記 9 に該当する者（注意 1 参照） |
| 日本文学・日本語<br>免除される試験：<br>「外国語」 | 次のＡまたはＢに該当する者。<br>Ａ．下記1～8のいずれかに該当し、該当時より入学時までに２年以上経過した者<br>Ｂ．下記9に該当する者（注意1参照） |
| 史学<br>免除される試験：<br>「外国語Ⅰ・Ⅱ」 | 次のＡまたはＢに該当する者。<br>Ａ．下記1～8のいずれかに該当し、該当時より入学時までに３年以上経過した者<br>Ｂ．下記9に該当する者（注意1参照） |

1. 大学を卒業した者
2. 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
3. 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者
4. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
5. 日本において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
6. 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けたものによる評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が 3 年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び 2026 年度 3 月までにその見込みの者
7. 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
8. 文部科学大臣の指定した者
9. 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時に 22 歳に達した者（注意 1 参照）

注意1：上記9により出願を希望する者は、各研究科で個別の入学資格審査を受ける必要があります。事前に学務部教務課（文学研究科担当）へ問合せのうえ、申請に必要な書類を提出してください。

| 入試種別 | 提出〆切（必着） |
|---|---|
| 博士前期課程入試（秋） | 2026年 7月24日（金） |
| 博士前期課程入試（春） | 2026年11月20日（金） |

【Ｃ：内部進学】（募集している専攻と実施時期：英米文学（春）、フランス文学・語学（秋）、日本文学・日本語（秋）および（春）、史学（秋）および（春）、比較芸術学（秋）および（春））

**青山学院大学大学院特別給付奨学金（P30）は、申請資格があり、かつ【Ｃ：内部進学】で出願した場合のみ申請可能ですのでご注意ください。**

〈英米文学〉

1. 本学文学部英米文学科を卒業見込みであること
2. 出願時点で学科科目（英語科目・専門科目）の GPA が 3.00 以上であること
3. 卒業論文を提出予定または提出済みであること。但し、卒業論文未提出者は内部進学選考の対象とならない。
4. 大学院科目特別履修制度 先取り科目履修方式を経て大学院科目を 4 単位以上修得見込みであること

〈フランス文学・語学〉

1. 本学文学部フランス文学科を卒業見込みの者。
2. 出願時点で卒業要件単位を 108 単位以上修得し、学科科目(フランス語科目・専門科目)の GPA が 2．8 以上であること。

〈日本文学・日本語〉

1. 本学文学部日本文学科を卒業見込みの者
2. 出願時点で学科科目の GPA が 2．8 以上（秋入試出願の場合は 3 年次後期まで、春入試出願の場合は 4 年次前期までの GPA を対象とする）
3. 卒業論文提出予定（春入試の場合は提出済み）であること

〈史学〉

1. 本学文学部史学科を卒業見込みの者
2. 出願時点で学科科目の GPA が 2．8 以上
（秋入試出願の場合は 3 年次後期まで、春入試出願の場合は 4 年次前期までの GPA を対象とする）

〈比較芸術学科〉

1. 本学文学部比較芸術学科を卒業見込みの者
2. 出願時点で、学科科目の GPA が 3.0 以上であること
（秋入試出願の場合は 3 年次後期まで、春入試出願の場合は 4 年次前期までの GPA を対象とする）
3. 卒業論文提出予定（春入試の場合は提出済み）であること

【Ｄ：英語資格取得者】　（募集している専攻と実施時期：英米文学（秋）および（春））

次の A～D のいずれかの資格を取得している者は、試験科目「英語」を免除する。

A. 実用英語技能検定（従来型、2 days S-Interview、S-Interview）１級以上
B. TOEIC® Listening & Reading 870点以上、Speaking 150点以上、Writing 160点以上
C. TOEFL iBT®（Special Home Edition、Home Editionを含む）スコア4.5/88点以上
D. IELTS（Academic Module）オーバーオール・バンド・スコア6.5以上

＜注意＞

・B・C・Dについては、出願期間末日より２年以内に取得したものを有効とします。
・Bについては、SpeakingとWritingのスコアは、受験日が異なるスコアの組み合わせでも出願することができます。
・TOEFL ITP®（Institutional Testing Program）は出願要件を満たす試験として認められません。
・TOEIC IP（Institutional Program）は出願要件を満たす試験として認められません。

【Ｅ：クレジット・トランスファー】　（募集している専攻と実施時期：日本文学・日本語（春））

下記に該当する者。

1. 本学文学部日本文学科を卒業した者
2. 卒業時点で学科科目の GPA が 3．0 以上
3. 卒業論文を提出済みであること
4. 「先取り科目履修方式」を経て大学院科目を 8 単位以上修得済、かつ卒業後 10 年以内であること

## 出願書類

1. 入学志願票（本学所定用紙）[ ①および② ]
   必ず①，②とも提出してください。
2. 写真票・宛名ラベル用紙 （本学所定用紙）
   必要事項を記入のうえ写真票・宛名ラベル用紙をそれぞれ切り取り線で切り離して提出してください。
   宛名ラベル用紙には送付先住所・氏名・志願する専攻を明記してください。このラベルを使用して、志願者に受験票を送付し、合格発表時には、合格者に入学手続書類を郵送します。
   **「1.入学志願票」および「2.写真票」にある選択受験科目欄については、下表に示す「選択受験科目」を必ず記入してください。出願資格により免除されることがありますが、この場合の記入は不要です。**

| 志願する専攻 | 課程・試験種別 | 選択受験科目 |
|---|---|---|
| 英米文学 | 博士前期課程入試<br>(秋)・(春) | **専門知識**…「英文学」「米文学」「英語学」「英語教育学・コミュニケーション」のうち指導を希望する教員の専門分野[25ページ「教員組織」参照]と同じ分野１つ。 |
| 日本文学・日本語 | 博士前期課程入試<br>(秋)・(春) | **外国語**…「英語」「日本語」のいずれか１つ。 |
| 史学 | 博士前期課程入試<br>(秋)・(春) | ①**専門知識**…「日本史」「東洋史」「西洋史」「考古学」のうち１つ。<br>②**外国語Ⅱ**…「ドイツ語」「フランス語」「ロシア語」「スペイン語」「中国語」「韓国語」「古文書」「日本語」のうち１つ。 |
| 比較芸術 | 博士前期課程入試<br>(秋)・(春) | ①**専門知識**…「美術史学」「音楽学」「演劇映像学」のうち１つ。<br>②**外国語Ⅱ**…「フランス語」「ドイツ語」「イタリア語」「古文書」のうち１つ。 |

3. 写真2枚（タテ4cm×ヨコ3cm、カラー、入学志願票および写真票に貼付）
   ＊入学手続の際に別途提出する学生証用の写真も、出願時と同じ写真を提出
4. 入学検定料の「取扱明細書」または「収納証明書」を、「貼付用紙」（本学所定用紙）に貼り付け提出してください。（16ページ「入学検定料」参照）
5. 出身大学または大学院の ①卒業(見込)または修了(見込)証明書 ②成績証明書
   ＊証明書原本を提出してください。（コピー不可）
   ＊証明書が日本語または英語でない場合は、公的機関による証明を受けた日本語または英語の訳文を付してください。
   ＊中国の大学を卒業した者は、卒業証明書の他に「学位取得証明書」も併せて提出してください。
   原本が中国語で記載されている場合、「原本（中国語）」＋「翻訳（日本語もしくは英語）」＋「 翻訳が正しいことを証明する 公的な機関による公証書」をご提出ください。公的な機関による公証書は、中国国内の各地方の公証処（各地方の司法局に認定された機関）において行ってください。中華人民共和国駐日本国大使館および総領事館は、中国国内で発行された各種証明書のコピーと原文一致、翻訳文と原文一致の公証を発行しません。公証手続きには相当な時間を要することが想定されますので、早めに手続きを開始するようお願いします。※証明書が日本語、英語で記載されている場合は、原本のみの提出で結構です。

   出身大学の卒業（見込）証明書及び成績証明、学位取得証明書の提出の代わりにCHSI（中国高等教育学生信息網）発行の認証書の提出も認めます。出願書類には印刷した証明書を同封し、かつ電子データの認証書が出願期間内にCHSIから本学メールアドレスへ電子メールにて直送されるよう、手配してください。電子データは、出願期間までに、CHSIから本学に直接届くものに限り有効とします。印刷した認証書のみの提出や、志願者等による電子メールの転送は出願書類として認められません。認証が行われるまでに時間を要す場合があるため、早めに手続を行ってください。
   【電子認証報告メール送信先】青山学院大学文学研究科担当：in-bungaku@aoyamagakuin.jp

＊改姓等により、証明書記載氏名が現在の氏名と異なる場合は、志願者にかかわる証明書として確認できませんので、氏名変更(改姓等)の事実が確認できる証明書(戸籍抄本等)を提出してください。
＊出身大学に編入学した者や単位認定を受けた者は、編入学以前の大学、短期大学等の卒業証明書および成績証明書も提出してください。
＊大学院を修了した者(見込みを含む)は、大学院の修了(見込)証明書および成績証明書も提出してください。
＊本学の証明書は学務部教務課で代理発行するため、提出不要です。

6. 大学改革支援･学位授与機構に学位を申請して学位を取得した者または学位取得見込みの者は、次の証明書を提出してください。(該当者のみ)
出身校の修了(見込)証明書、成績証明書、学位取得証明書または学位申請にかかわる証明書
7. 外国籍者は、パスポート（顔写真ページ）のコピーを提出してください。
8. 研究計画書（以下の入試志願者のみ提出）
・英米文学専攻［出願資格D：英語資格取得者］
（本学所定用紙）を使用し、提出してください。研究計画書については評価を行いますが、入学後、専攻の承認を得れば変更は可能です。
・日本文学・日本語専攻：すべての出願資格の志願者
（本学所定用紙）[ ①および② ]を使用し、必ず①，②とも提出してください。記述はすべて欄内に収めるようにしてください。研究計画書については評価を行いますが、入学後、専攻の承認を得れば変更は可能です。
・史学専攻：博士前期課程入試(秋)におけるすべての出願資格の志願者
所定用紙なし、A４判、縦書き・横書きは自由、6,000～8,000字程度。
注：参考文献を明記してください（参考文献は字数に含めません）。
・比較芸術学専攻：博士前期課程入試(秋)におけるすべての出願資格の志願者
所定用紙なし、A４判、縦書き・横書きは自由、8,000字以内。
注：参考文献を明記してください（参考文献は字数に含めません）。
9. 志望動機書（以下の入試志願者のみ提出）
・英米文学専攻：[出願資格B：社会人向け]および[出願資格C：内部進学]志願者のみ
所定用紙なし、A4判、横書き、1,000字以内。1ページ目に氏名を記入してください。
・フランス文学・語学：[出願資格C：内部進学]志願者のみ
所定用紙なし、A4判、横書き、1,200字以内。1ページ目に氏名を記入してください。
10. 卒業論文（博士前期課入試(春)のうち下表に該当する志願者のみ提出）
他の出願書類と一緒に、下表の提出部数コピーした卒業論文を送付してください。返却しないので、必ずコピーしたものを提出してください。なお、同封できない場合は、他の出願書類とは別に送付してください（2027年1月8日（金）消印有効、簡易書留・速達郵便扱いとし、封筒の表には、必要事項を記入した出願用封筒表紙（本学所定用紙）を貼付してください）。
英米文学専攻　内部進学（春）の卒業論文は、学部の卒業論文提出締切日までに最終版を出力の上、教務課文学研究科宛へご提出ください（窓口受付のみ）。最終版の提出がない場合は、審査の対象となりません。

| 志願する専攻・試験種別 | 卒業論文提出部数 | 注意事項 |
|---|---|---|
| 英米文学<br>〈博士前期課程入試(春)〉<br>[出願資格C：内部進学] | 2部 | 学部の卒業論文提出締切日までに最終版を出力の上、教務課文学研究科宛へご提出ください（窓口受付のみ）。<br>最終版の提出がない場合は、審査の対象となりません。 |
| フランス文学・語学<br>〈博士前期課程入試(春)〉<br>［A方式］志願者のみ | 3部 | 卒業論文を執筆していない者は、それに代わる論文（コピー3部）を提出してください。前年度もしくはそれ以前に卒業論文を提出した者は、卒業後に書いた論文を参考論文（コピー3部）として添付することができます。なお、卒業論文およびそれに代わる論文の内容はフランス文学・語学に関するものとします。 |
| 日本文学・日本語<br>〈博士前期課程入試(春)〉<br>[出願資格A：一般]、<br>[出願資格C：内部進学］の志願者 | 3部 | 出願資格A（一般）の志願者のうち、卒業論文を執筆していない者は、それに代わる論文（コピー3部）を提出してください（卒業論文またはそれに代わる論文の内容は、日本文学・日本語関係のものが望ましい）。なお、前年度もしくはそれ以前に卒業論文を提出した者は、卒業論文以降の研究成果を示す参考論文（公刊・未刊の別は問わない。未刊の場合の書式・文字数は自由。コピー3部）を添付することができます。<br>卒業論文が外国語の場合、2,000字程度の日本語要旨を同時に提出してください。 |
| 日本文学・日本語<br>〈博士前期課程入試(春)〉<br>［出願資格E：ｸﾚｼﾞｯﾄ・ﾄﾗﾝｽﾌｧｰ]の志願者 | 3部 | 出願資格E（ｸﾚｼﾞｯﾄ・ﾄﾗﾝｽﾌｧｰ）の志願者のうち、前年度もしくはそれ以前に卒業論文を提出した者は、卒業論文以降の研究成果を示す参考論文（公刊・未刊の別は問わない。未刊の場合の書式・文字数は自由。コピー3部）を添付することができます。 |
| 史学<br>〈博士前期課程入試(春)〉<br>[出願資格A:一般]の志願者のみ | 2部 | 本学史学科卒業見込者は提出不要。歴史学の卒業論文を書いていない者は、卒業論文に相当する歴史にかかわる論文（コピー2部）を提出してください。なお、前年度もしくはそれ以前に卒業論文を提出した者は、その間の研修を証明する論文（コピー2部）を提出し、それをもって審査の対象とすることができます。 |
| 比較芸術学<br>〈博士前期課程入試(春)〉 | 2部 | 卒業論文は美術史学、音楽学、演劇映像学のいずれかの分野に関するものとします。上記分野の卒業論文を書いていない者は、それに相当する論文（コピー2部）を提出してください。なお、前年度もしくはそれ以前に上記分野の卒業論文を本学に提出した者は、その間の研修を証明する論文（コピー2部）を提出し、それをもって審査の対象とすることができます。 |

11. 英語資格の証明（以下の入試志願者のみ提出）

英米文学専攻：［出願資格D：英語資格取得者］

| 出願書類 | 注意事項 |
|---|---|
| 英語資格の証明<br>資格（8ページ「出願資格D」参照）にあるA～Dの中で該当するもの全てを提出してください。<br>A、B、D：証明書またはスコアは原本もしくは原本照合がなされたものに限ります。（コピー不可）<br>C:ダウンロードしたスコアを印刷してご提出の上、併せてDIコードG314を指定の上、スコアを直送してください。 | A. 英検の場合：「合格証明書」（Certification Cardは不可）<br>B. TOEIC® L&R・TOEIC® S&W・TOEIC® Speakingの場合：「Official Score Certificate」または「Official Score Report」<br>C. TOEFL iBT® の場合：「Test Taker Score Report」<br>D. IELTSの場合：「Test Report Form」 |

・**英語資格に係る出願書類は全て原本（オリジナル）の提出を原則とします。**原本が１部しかない等の理由で提出できない場合は、巻末の「原本返却について」を参照してください。

・願書受付期間に原本を学務部教務課に持参して原本照合を行った場合に限り、本学がお渡しした原本照合済の書類での出願を認めます。

・TOEFL iBT®

出願書類には印刷したスコアを同封し、かつ出願期間内にTOEFLから本学へ直送されるよう手配してください（DIコードG314）。出願期間までに、TOEFLから本学に直接届くものに限り有効とします。印刷したスコアのみの提出や、志願者等による電子データの転送は出願書類として認められません。直送の手続きに時間を要す場合があるため、早めに手続を行ってください。

・提出した書類は返還しません。

・改姓等により、証明書記載氏名が現在の氏名と異なる場合は、志願者にかかわる証明書として確認できませんので、氏名変更(改姓等)の事実が確認できる証明書(戸籍抄本等)を提出してください。

12.推薦書（以下の入試志願者のみ提出）

・フランス文学・語学専攻　博士前期課程入試（秋）における［出願資格C：内部進学者］

本学文学部フランス文学科の専任教員２名からの推薦書を準備してください。書式は任意となります。

13. 日本語能力試験（N1）の「合格結果通知書」または「認定結果及び成績に関する証明書」の原本（以下の入試志願者のみ提出）

・日本語を母語とせず日本文学・日本語専攻を志願する者

※公益財団法人日本国際教育支援協会及び独立行政法人国際交流基金が実施している日本語能力試験N1レベルの「合格結果通知書」または「認定結果及び成績に関する証明書」の原本を提出してください。ただし、日本の大学を卒業した者または卒業見込みの者は、提出する必要はありません。

※原本をご提出ください。（コピー不可）

～出願書類の記入、作成にあたっての注意～

・ 志望動機・研究計画書などの記入や作成にあたっては、志願者自身が作成した文章を提出してください。

人工知能等が自動生成した文章や他者が作成した文章の提出を禁じます。

・ 入学後であっても、事実に反する記載が判明した場合は入学を取り消します。

博士前期課程　出願書類　（必ず本文で確認してください）

| 出願書類 ／ ◇専攻◇ 出願資格 （時期） | 入学志願票 | 写真２枚（入学志願票・写真票に貼付） | 写真票・宛名ラベル用紙・受験票 | 卒業（見込）証明書 | 成績証明書 | 研究計画書 | 志望動機書 | 卒業論文（コピー） | 英語資格の証明 | 推薦書 | 日本語能力試験（N1）の「合格結果通知書」または「認定結果及び成績に関する証明書」の原 | 収納証明書（所定用紙に貼付） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ◇英米文学◇ | | | | | | | | | | | | |
| 一般（秋・春） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | — | — | — | — | — | ○ |
| 英語資格取得者（秋・春） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | — | ○ | — | — | ○ |
| 社会人向け（秋） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | — | — | — | — | ○ |
| 内部進学（春） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ２部※ | — | — | — | ○ |
| ◇フランス文学・語学◇ | | | | | | | | | | | | |
| 一般(秋) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | — | — | — | — | — | ○ |
| 内部進学（秋） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | — | — | ２通 | — | ○ |
| 一般［A方式］（春） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | — | ３部 | — | — | — | ○ |
| 一般［B方式］（春） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | — | — | — | — | — | ○ |
| ◇日本文学・日本語◇ | | | | | | | | | | | | |
| 一般（秋）<br>社会人向け（秋）<br>内部進学（秋） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | — | — | — | ※ | ○ |
| 一般（春）<br>内部進学（春）<br>ｸﾚｼﾞｯﾄ・ﾄﾗﾝｽﾌｧｰ（春） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ３部 | — | — | ※ | ○ |
| ◇史学◇ | | | | | | | | | | | | |
| 一般（秋）<br>社会向け（秋）<br>内部進学（秋） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | — | — | — | — | ○ |
| 一般（春） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | — | ２部※ | — | — | — | ○ |
| 内部進学（春） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | — | — | — | — | — | ○ |
| ◇比較芸術学◇ | | | | | | | | | | | | |
| 一般（秋） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | — | — | — | — | ○ |
| 一般（春） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | — | ２部 | — | — | — | ○ |
| 内部進学（秋） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | — | — | — | — | ○ |
| 内部進学（春） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | — | ２部 | — | — | — | ○ |

注1）提出書類については、必ず本文記載内容を確認してください。
注2）〇印・部数・枚数のある書類が必要書類です。
注3）外国籍者は12ページ 本文7を参照してください。
注4）※日本文学・日本語専攻出願者のうち、日本語を母語としない者のみ提出してください。
ただし、日本の大学を卒業した者または卒業見込みの者は、提出する必要はありません。
※原本をご提出ください。（コピー不可）
注5）英米文学専攻　内部進学（春）の卒業論文は、学部の卒業論文提出締切日までに最終版を出力の上、教務課文学研究科宛へ提出ください（窓口受付のみ）。最終版の提出がない場合は、審査の対象となりません。
注6）史学専攻　一般（春）の卒業論文は、他大学出身の場合のみ必要です。
注7）写真は、入学手続時に、出願時と同一の写真データ（jpg または png 形式）をアップロードしていただきます。そのため、写真のデータ版もあらかじめ取得・保管しておいてください。

## 入学検定料

＜博士前期課程志願者＞

**35,000**円

1. コンビニエンスストア、クレジットカードのいずれかにより支払ってください。（次ページ以降参照）
願書受付期間を過ぎてからは振り込みできませんのでご注意ください。
博士前期課程　（秋実施）
博士前期課程10月実施用 35,000円
博士前期課程　（春実施）
博士前期課程 2月実施用 35,000円
2. 「収納証明書」を、貼付用紙（本学所定用紙）に貼付し、出願書類に同封してください。
なお、金融機関窓口で振り込む場合、金額が訂正されたものや収納印がないものは無効です。
3. **出願受付後、入学検定料は返還いたしません。振り込んだが出願しなかった場合は、学務部教務課（文学研究科担当）にて返金の手続をしてください。**

# コンビニ端末での入学検定料支払方法

## 下記のコンビニ端末にてお支払いください

**1 お申込み**

### セブン-イレブン マルチコピー機

https://www.sej.co.jp/services/multicopy

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。

TOP画面の「**学び・教育**」よりお申込みください。

学び・教育 → 入学検定料等支払

### LAWSON Loppi / MINISTOP Loppi

https://www.lawson.co.jp　https://www.ministop.co.jp

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。

TOP画面の「**各種サービスメニュー**」よりお申込みください。

「各種申込(学び)」を含むボタン → 学び・教育・各種検定試験 → 大学・短大、専門、小・中・高校等お支払い

お申込みの大学　をタッチし、申込情報を入力して「**払込票／申込券**」を発券ください。

＊画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

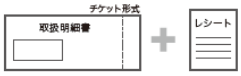
**2 お支払い**

①コンビニの**レジ**でお支払いください。

端末より「**払込票**」(マルチコピー機)または「**申込券**」(Loppi)が出力されますので、
**30分以内にレジにて**お支払いください。

②お支払い後、**チケット**と**レシート**の2種類をお受け取りください。

「**取扱明細書**」(マルチコピー機)または「**払込受領証**」(Loppi)。

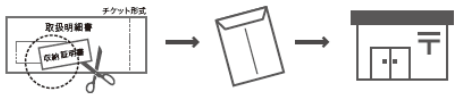



＊お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。
＊お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。
＊すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

| 払込手数料(税込) | | |
|---|---|---|
| | 入学検定料が5万円未満 | 605円 |
| | 入学検定料が5万円以上 | 825円 |

**3 出願**

「**取扱明細書**」または「**払込受領証**」の
「**収納証明書**」部分を切り取り、
入試要項などの指示に従って郵送してください。




貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある欄は使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

【操作などのお問合わせ先】**学び・教育サポートセンター**　https://e-apply.jp/　※コンビニ店頭ではお応えできません。

# クレジットカードでの入学検定料支払方法

**24時間・365日いつでも支払いOK!**

クレジットカードを利用して入学検定料のお支払いが可能です。 VISA JCB NICOS

インターネット申込 ～ クレジット決済

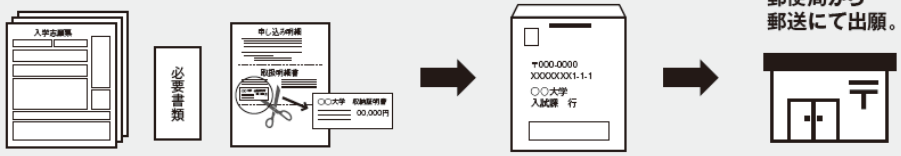
**PCで下記にアクセス**

**https://e-apply.jp/e/gs-aoyama**

| | |
|---|---|
| 1. トップページ | 「申し込む」ボタンをクリック |
| 2. 研究科選択 | 研究科を選択してください。 |
| 3. 入試選択 | 受験される入試を選択して「次へ」ボタンをクリック |
| 4. 留意事項 | 留意事項の内容を確認・同意して「次へ」ボタンをクリック |
| 5. 基本情報入力 | 申込者本人の基本情報を入力し「個人情報取扱方法」に同意し「次へ」ボタンをクリック |
| 6. 申込内容確認 | 申込された情報を確認し、問題なければ「申込みする」ボタンをクリック |
| 7. 受付番号確認 | 受付番号（12桁）を控え、「引き続き支払う」ボタンをクリック<br>（登録されたメールアドレスにも通知されます。） |
| 8. クレジットカード情報入力 | 支払に利用するクレジットカード番号（16桁）等必要な情報を入力し、「次へ」をクリック<br>*お支払いされるカードの名義人は申込者本人以外でも構いません。 |
| 9. 決済完了 | 完了後に通知されるメールアドレスに記載のURLよりログインいただき、取扱明細書をプリントアウトしてください。<br>*メール通知が届かない場合は、TOPページの「申込内容を確認する」ボタンをクリックし、「受付番号（12桁）」「（登録時の）メールアドレス」「生年月日」でログインしてください。 |

出願

印刷した「収納証明書」と必要書類を、出願用封筒に入れる。




郵便局から
郵送にて出願。

**【注意事項・よくあるお問合せ】**

- 出願期間を入試要項でご確認のうえ、出願に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日は23:59までにカード決済を完了させてください。
- 入学検定料の他に、払込手数料（税込）が別途かかります。
  払込手数料（税込）：30,000円未満…手数料 664円、30,000円以上50,000円未満…手数料 1,041円、50,000円…手数料 1,163円
- クレジットカードの名義人は、申込者本人以外でも構いません。但し、基本情報入力画面では、必ず申込者本人の情報を入力してください。
- メール通知が届かない場合は、TOPページの「申込内容を確認する」ボタンをクリックし、「受付番号（12桁）」「（登録時の）メールアドレス」「生年月日」でログインしてください。
- 一度お支払された入学検定料は、出願後は一切返金できませんのでご注意ください。
- カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。

**「クレジットカードでの入学検定料納入」について不明点がある場合は、トップページの「はじめに」から「お問い合せ先」をご覧頂き、「学び・教育サポートセンター」までお問い合わせください。**

## 入学試験日・合格発表日時

### 博士前期課程　全専攻共通

（英米文学、フランス文学・語学、日本文学･日本語、史学、比較芸術学）

| 種別 | 試験日 | 合格発表日時 |
|---|---|---|
| 博士前期課程入試(秋) | 2026年10月10日(土) | 2026年10月16日(金) 13:00 |
| 博士前期課程入試(春) | 2027年2月20日(土) | 2027年2月26日(金) 13:00 |

## 試験科目・試験時間割

英米文学専攻　(秋) 実施

英語　　(英文読解・英語小論文・和文英訳)
専門知識　　(英文学、米文学、英語学、英語教育学・コミュニケーションのうち、研究指導を希望する教員の専門分野[25ページ「教員組織」参照]と同じ分野を１つ選択し、志願票・写真票の所定欄に明記してください。)
面接

| | | |
|---|---|---|
| 10月10日(土) | 9:30～11:30 | 英語 |
| | 12:00～13:00 | 専門知識 |
| | 15:00～ | 面接 |

出願資格Ｄ（英語資格取得者）の志願者は「英語」を免除

英米文学専攻　(春) 実施

英語　　(英文読解・英語小論文・和文英訳)
専門知識　　(英文学、米文学、英語学、英語教育学・コミュニケーションのうち、研究指導を希望する教員の専門分野[25ページ「教員組織」参照]と同じ分野を１つ選択し、志願票・写真票の所定欄に明記してください。)
卒業論文審査　(12ページ参照)（出願資格C（内部進学）のみ）
面接

| | | |
|---|---|---|
| 2月20日(土) | 9:30～11:30 | 英語 |
| | 12:00～13:00 | 専門知識 |
| | 15:00～ | 面接 |

出願資格Ｃ（内部進学）の志願者は「面接」のみ
出願資格Ｄ（英語資格取得者）の志願者は「英語」を免除

フランス文学・語学専攻　（秋）実施

フランス文学・語学　（仏文読解・和文仏訳）
第二外国語　（英語）辞書の使用を許可します。ただし、電子辞書は使用できません。
面接　（フランス語による質疑応答を含む）

| | | |
|---|---|---|
| 10月10日(土) | 9:30～11:30 | フランス文学・語学 |
| | 12:00～13:00 | 第二外国語 |
| | 15:00～ | 面接 |

出願資格Ｃ（内部進学者）の志願者は「面接」のみ

フランス文学・語学専攻　(春)実施［Ａ方式］

フランス文学・語学　（仏文読解）
第二外国語　（英語）辞書の使用を許可します。ただし、電子辞書は使用できません。
卒業論文審査　（12ページ参照）
面接　（フランス語による質疑応答を含む）

| | | |
|---|---|---|
| 2月20日(土) | 9:30～11:30 | フランス文学・語学 |
| | 12:00～13:00 | 第二外国語 |
| | 14:00～ | 面接 |

フランス文学・語学専攻　(春)実施［Ｂ方式］

フランス文学・語学　（仏文読解）
第二外国語　（英語）辞書の使用を許可します。ただし、電子辞書は使用できません。
論述　（フランス文学・語学に関する主題について、日本語で論述を行う）
面接　（フランス語による質疑応答を含む）

| | | |
|---|---|---|
| 2月20日(土) | 9:30～11:30 | フランス文学・語学 |
| | 12:00～13:00 | 第二外国語 |
| | 14:00～15:30 | 論述 |
| | 16:30～ | 面接 |

日本文学・日本語専攻　（秋）実施

専門知識　（読解・論述を含む）
外国語　（英語。ただし外国人の方（日本語を母語としない方）は日本語を選択してください。）
志願票・写真票の所定欄に英語または日本語と明記してください。
英語試験のみ英和辞書の使用を許可します。ただし、電子辞書は使用できません。
面接

| | | |
|---|---|---|
| 10月10日(土) | 9:30～11:30 | 専門知識 |
| | 12:00～13:00 | 外国語 |
| | 15:00～ | 面接 |

出願資格Ｂ（社会人向け）の志願者は「外国語」を免除

日本文学・日本語専攻　（春）実施

専門知識　（読解・論述を含む）
外国語　（英語。ただし外国人の方（日本語を母語としない方）は日本語を選択してください。）
志願票・写真票の所定欄に英語または日本語と明記してください。
英語試験のみ英和辞書の使用を許可します。ただし、電子辞書は使用できません。
卒業論文審査　（12ページ参照）
面接

| | | |
|---|---|---|
| 2月20日(土) | 9:30～11:30 | 専門知識 |
| | 12:00～13:00 | 外国語 |
| | 15:00～ | 面接 |

史学専攻　（秋）実施

外国語Ⅰ及びⅡ

外国語Ⅰ（英語）辞書の使用を許可します。ただし、電子辞書の使用はできません。

外国語Ⅱ（ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、中国語、韓国語）いずれか１つを選択してください。ただし、日本史選択者は「古文書」を、外国人留学生は「日本語」をもってこれにかえることができます。外国人留学生が「日本語」ではなく、上記の外国語を選択することもできます。「古文書」と「日本語」を除き、辞書の使用を許可しますが、電子辞書の使用はできません。

専門知識　（日本史、東洋史、西洋史、考古学）希望する分野を１つ選択してください。

口述試験

（注意）外国語Ⅱ及び専門知識については、それぞれ選択したものを志願票・写真票の所定欄に明記してください。

| | | |
|---|---|---|
| 10月10日(土) | 9:30～11:00 | 専門知識 |
| | 11:30～13:00 | 外国語Ⅰ及びⅡ |
| | 15:00～ | 口述試験 |

出願資格Ｂ（社会人向け）の志願者は「外国語Ⅰ及びⅡ」を免除

出願資格Ｃ（内部進学者）の志願者は「専門知識」を免除

史学専攻　（春）実施

専門知識　（日本史、東洋史、西洋史、考古学）希望する分野を１つ選択してください。

外国語Ⅰ及びⅡ

外国語Ⅰ　（英語）辞書の使用を許可します。ただし、電子辞書の使用はできません。

外国語Ⅱ　（ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、中国語、韓国語）いずれか１つを選択してください。ただし、日本史選択者は「古文書」を、外国人留学生は「日本語」をもってこれにかえることができます。外国人留学生が「日本語」ではなく、上記の外国語を選択することもできます。「古文書」と「日本語」を除き、辞書の使用を許可しますが、電子辞書の使用はできません。

卒業論文審査　(12ページ参照)

口述試験

（注意）専門知識及び外国語Ⅱについては、それぞれ選択したものを志願票・写真票の所定欄に明記してください。

| | | |
|---|---|---|
| 2月20日(土) | 9:30～11:00 | 専門知識 |
| | 11:30～13:00 | 外国語Ⅰ及びⅡ |
| | 15:30～ | 口述試験 |

出願資格Ｃ（内部進学者）の志願者は「専門知識」を免除

比較芸術学専攻　（秋）実施

専門知識　　（美術史学、音楽学、演劇映像学の中から希望する分野を１つ選択してください。）

外国語Ⅰ及びⅡ

外国語Ⅰ　（英語）辞書の使用を許可します。ただし、電子辞書の使用はできません。

外国語Ⅱ　（フランス語、ドイツ語、イタリア語、古文書のいずれか１つを選択してください。フランス語とドイツ語とイタリア語については辞書の使用を許可します。ただし、電子辞書の使用はできません。）

面接

（注意）外国語Ⅱ及び専門知識については、それぞれ選択したものを志願票・写真票の所定欄に明記してください。

| | | |
|---|---|---|
| 10月10日(土) | 9:30～11:00 | 専門知識 |
| | 11:30～13:00 | 外国語Ⅰ及びⅡ |
| | 15:00～ | 面接 |

比較芸術学専攻　（春）実施

専門知識　　（美術史学、音楽学、演劇映像学の中から希望する分野を１つ選択してください。）

外国語Ⅰ及びⅡ

外国語Ⅰ　（英語）辞書の使用を許可します。ただし、電子辞書の使用はできません。

外国語Ⅱ　（フランス語、ドイツ語、イタリア語、古文書のいずれか１つを選択してください。フランス語とドイツ語とイタリア語については辞書の使用を許可します。ただし、電子辞書の使用はできません。）

卒業論文審査　　(12ページ参照)

面接

（注意）専門知識及び外国語Ⅱについては、それぞれ選択したものを志願票・写真票の所定欄に明記してください。

| | | |
|---|---|---|
| 2月20日(土) | 9:30～11:00 | 専門知識 |
| | 11:30～13:00 | 外国語Ⅰ及びⅡ |
| | 15:00～ | 面接 |

## 試験についての注意事項

1. 試験は青山キャンパスで実施します。
2. 試験室は試験当日、大学院掲示板(17号館2階 スチューデントセンター前)に掲示します。
3. 受験者は、試験開始10分前までに試験室に入室してください。筆記試験については、受験番号ラベルにより受験者ごとの着席位置が指定されていますので、自分の受験番号ラベルが貼付された位置に着席してください。
4. **試験開始から20分以上遅刻した者は欠席となり、当該試験科目以降すべての試験科目を受験することができません。**
5. 筆記試験は、出願した専攻・課程・出願資格ごとに課されているすべての試験科目を受験してください。1科目でも欠席した場合は棄権とみなします。免除されている科目は受験できません。また、筆記試験を課されていながらもその筆記試験科目を受験していない者は、面接（口述試験）を受験することはできません。
6. 辞書の使用が許可されている試験科目については、一般的な辞書の使用を許可します。ただし、電子辞書および用語辞典等の使用は認めません。試験科目のところに辞書使用可と書かれていない試験については辞書を使用することができません。
7. 試験当日は、受験票を必ずお持ちください。万一紛失した場合は、再発行しますので、学務部教務課（文学研究科担当）へ連絡(試験当日は来室)してください。

## 合格発表

1. 上記合格発表日時に大学ホームページ「大学院入学試験等に関するお知らせ」（下記URL）にて発表します。
   https://www.aoyama.ac.jp/admission/graduate/information/index.html

2. 合格者には、入学手続書類を郵送します。入学手続要項にしたがい、入学手続締切日までに手続を完了してください。

## 入学手続　入学手続はすべて郵送となります。（締切日消印有効）

**入学手続締切日**

入学手続締切日は以下のとおりです。

**博士前期課程入試(秋)**

**第１次入学手続締切日　　2026年11月13日(金)**
**第２次入学手続締切日　　2027年 3月 5日(金)**

**博士前期課程入試(春)**

**2027年 3月 5日(金)**

※合格者には、入学手続書類を郵送します。入学手続要項にしたがい、入学手続締切日までに手続を完了してください。

※（秋）実施においては、第1次入学手続と第２次入学手続に分かれています。
第1次入学手続、第2次入学手続とも完了しない場合、合格は無効となりますのでご注意ください。

※入学手続に際して必要な入学時納入金については45ページの「学費等」を参照してください。

【お願い】「博士前期課程・博士後期課程　全専攻共通事項」（45ページ以降）もご一読ください。

# 教 員 組 織

(2027年度予定)

◎教員組織は2027年度予定のものです。今後変更もあり得ることをご承知おきください。

英米文学専攻　博士前期課程

| 専門分野 | 主な研究指導領域 | 職名 | 氏名 | | | 担当科目 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 英文学 | イギリス小説 | 教　授 | ○ | | 麻　生　えりか | | イギリス小説Ｃ研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ |
| | イギリス小説 | 教　授 | ○ | | 久　野　陽　一 | | イギリス小説Ｄ研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ |
| | イギリス詩 | 教　授 | ○ | | 笹　川　　渉 | | イギリス詩Ａ研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ |
| | イギリス文学・文化 | 教　授 | ○ | | 田　中　裕　介 | | イギリス小説Ｂ研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ |
| | イギリス詩 | 教　授 | ○ | | 伊　達　直　之 | | イギリス詩Ｂ研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ |
| | イギリス小説 | 教　授 | ○ | | 松　井　優　子 | | イギリス小説Ａ研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ |
| | グローバル文学 | 准教授 | ○ | | 橋　本　智　弘 | | イギリス批評Ａ研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ |
| | イギリス文学・文化 | 准教授 | ○ | | PAZDZIORA, John P. | | イギリス演劇Ａ研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ |
| 米文学 | アメリカ劇 | 教　授 | ○ | ※ | 外　岡　尚　美 | | アメリカ演劇Ａ研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ |
| | アメリカ文学・文化 | 教　授 | ○ | | KNIGHTON,Mary A. | | アメリカ小説Ａ研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ |
| | アメリカ小説 | 教　授 | ○ | | 西　本　あづさ | | アメリカ小説Ｆ研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ |
| | アメリカ文学・文化 | 教　授 | ○ | | 結　城　正　美 | | アメリカ小説Ｅ研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ |
| | アメリカ小説 | 教　授 | ○ | | 若　林　麻希子 | | アメリカ小説Ｃ研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ |
| | アメリカ詩 | 准教授 | ○ | ※ | 来　馬　哲　平 | 後休 | アメリカ詩Ａ研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ |
| | アメリカ小説 | 准教授 | ○ | | 齊　藤　弘　平 | | アメリカ小説Ｂ研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ |
| 英語学 | 統語論 | 教　授 | ○ | | 葛　西　宏　信 | | 文法論研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ |
| | 英語学 | 教　授 | ○ | | 髙　橋　将　一 | | 英語統語論研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ |
| | 英語史 | 教　授 | ○ | ※ | 寺　澤　　盾 | | 英語史研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ |
| | 音声学 | 教　授 | ○ | | 中　村　光　宏 | | 音声学研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ |
| | 音韻論 | 教　授 | ○ | | 横　谷　輝　男 | | 音韻論研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ |
| | 心理言語学・第二言語習得 | 准教授 | ○ | | THOMPSON,Colin J. | | 第二言語習得論研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ |
| 英語教育学・コミュニケーション | 英語教育論 | 教　授 | ○ | | 飯　田　敦　史 | | 英語教育論研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ |
| | 通訳・映像翻訳 | 教　授 | ○ | | 稲　生　衣　代 | | コミュニケーションＧ研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ |
| | 英語語用論 | 教　授 | ○ | ※ | 小野寺　典　子 | | コミュニケーションＡ研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ |
| | 英語教育 | 教　授 | ○ | | DIAS,Joseph V. | | コミュニケーションＥ研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ |
| | 初等英語教育学 | 教　授 | ○ | | 長　沼　君　主 | | 初等英語教育論研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ |
| | 通訳・翻訳 | 教　授 | ○ | | 長　沼　美香子 | | コミュニケーションＣ研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ |
| | 言語心理学・非言語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ | 教　授 | ○ | | 野　邊　修　一 | | コミュニケーションＢ研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ |
| | 英語教育 | 教　授 | ○ | | REIMANN,Andrew N. | | コミュニケーションＤ研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ |
| | 英語ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ | 准教授 | ○ | | 大　川　道　代 | | コミュニケーションＦ研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ |
| | | | | | | ＊ | 基礎演習（１）Ⅰ |
| | | | | | | ＊ | 基礎演習（２）Ⅰ・Ⅱ |

研究Ⅰ・Ⅱと演習Ⅰ・Ⅱは隔年開講を原則とする。
授業時間は9:00～20:00までの間に6コマ配置される（昼夜開講制）。
氏名の前に○印の付いた教員は研究指導演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳも担当する。ただし、※印の付いた教員は2027年度学生募集せず。
担当科目欄に休とある科目は2027年度休講、前休とある科目は2027年度前期休講、後休とある科目は2027年度後期休講。
担当科目欄の＊印は担当者未定科目。

フランス文学・語学専攻　博士前期課程

| 職名 | | 氏　　名 | | 研究指導教員の専門分野 | | 担　当　科　目 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 教　授 | ○ | 秋　山　伸　子 | | 17 世紀フランス文学 | | 17 世紀フランス文学・語学研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ |
| | ○ | 阿　部　　崇 | | 現代フランス思想 | | 現代フランス思想研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ |
| | ○ | 荒　木　善　太 | ※ | 19 世紀フランス文学 | | 19 世紀フランス文学・語学研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ |
| | ○ | 井　田　　尚 | | 18 世紀フランス文学・フランス思想 | | 18 世紀フランス文学・語学研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ |
| | ○ | 久保田　剛　史 | | 16 世紀フランス文学・フランス思想 | | 16 世紀フランス文学・語学研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ |
| | ○ | 濵　野　耕一郎 | | 20 世紀フランス文学・フランス思想 | | 20 世紀フランス文学・語学研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ |
| | ○ | 福　田　美　雪 | | 19 世紀フランス文学 | | 小説研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ |
| | ○ | 和　田　惠　里 | | 20 世紀フランス文学 | | 20 世紀フランス文学・語学研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ |
| 准 教 授 | ○ | 古　賀　健太郎 | | フランス語学 | | フランス語学研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ |
| | ○ | 近　藤　野　里 | | フランス語学 | | フランス語学研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ |
| | ○ | 中　野　芳　彦 | | フランス詩・19 世紀フランス文学 | | フランス詩研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ |
| | ○ | ADAMI, Sylvain | ※ | フランス語教授法・社会言語学 | 休 | フランス言語文化研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ |
| | ○ | DE LENCQUESAING,M | | 17 世紀フランス文学・宗教文学 | | 基礎演習（２）Ⅰ・Ⅱ |
| | | HAVET, Helline | | フランス語学 | | フランス語学研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ |

研究Ⅰ・Ⅱと演習Ⅰ・Ⅱは隔年開講を原則とする。
氏名の前に○印の付いた教員は研究指導演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳも担当する。ただし、※印の付いた教員は 2027 年度学生募集せず。
担当科目欄に休とある科目は 2027 年度休講。

日本文学・日本語専攻　博士前期課程

氏名の前の○印は研究指導担当教員

| 職名 | | 氏　　名 | | 研究指導教員の専門分野 | | 担　　当　　科　　目 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 教　　授 | ○ | 大　屋　多詠子 | | 近世文学 | | 近世文学研究（一）A･B、同演習（一）A･B |
| | ○ | 小　松　靖　彦 | | 上代文学・比較文学 | | 上代文学研究（一）A･B、同演習（一）A･B |
| | ○ | 佐　藤　　泉 | | 近代文学 | | 近代文学研究（三）A･B、同演習（三）A･B |
| | ○ | 澤　田　　淳 | | 日本語学 | | 日本語学研究（二）A･B、同演習（二）A･B |
| | ○ | 高　田　祐　彦 | ※ | 中古文学 | | 中古文学研究（二）A･B、同演習（二）A･B |
| | ○ | 武　内　佳　代 | | 近代文学 | | 近代文学研究（一）A･B、同演習（一）A･B |
| | ○ | 田　中　里　奈 | | 日本語教育学 | | 日本語教育学研究Ａ・Ｂ、同演習Ａ・Ｂ |
| | ○ | 韓　　京　子 | | 近世文学･表象文化論 | | 近世文学研究（二）A･B、同演習（二）A･B |
| | ○ | 日　置　俊　次 | | 近代文学 | | 近代文学研究（二）A･B、同演習（二）A･B |
| | ○ | 山　崎　　藍 | | 中国古典学 | | 中国古典学研究 A･B、同演習 A･B |
| | ○ | 山　本　啓　介 | | 中世文学・和歌文学 | | 中世文学研究（二）A･B、同演習（二）A･B |
| 准 教 授 | ○ | 大　江　元　貴 | ※ | 日本語学 | 休 | 日本語学研究（一）A･B、同演習（一）A･B |
| | ○ | 滝　澤　み　か | | 中世文学 | | 中世文学研究（一）A･B、同演習（二）A･B |
| | ○ | 山　口　一　樹 | | 中古文学 | | 中古文学研究（一）A･B、同演習（一）A･B |
| 兼任講師 | | 石　川　　透 | | | | 中世文学研究（一）A･B、同演習（一）A･B |
| | | 大　堀　壽　夫 | | | | 日本語学研究（三）A･B、同演習（三）A･B |
| | | 久　米　依　子 | | | | 日本文学研究（二）A･B、同演習（二）A･B |
| | | 白　石　佳　和 | | | | 日本文学研究（一）A･B、同演習（一）A･B |

同一担当者の研究Ａ・Ｂと演習Ａ・Ｂは隔年開講を原則とする。
研究指導欄の※印は 2027 年度学生募集せず。
担当科目欄に休とある科目は 2027 年度休講。
兼任講師は 2026 年度実績。授業科目のみ担当。

史学専攻　博士前期課程

氏名の前の○印は研究指導担当教員

| 職名 | 氏名 | | 研究指導教員の専門分野 | | 担当科目 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 教授 | ○ | 青木　敦 | | 東洋史（古代・中世） | | グローバル・アジア史研究A･B、同演習A･B |
| | ○ | 岩井浩人 | | 日本考古学（古代） | | 日本考古学研究ⅠA･B、同演習ⅠA･B |
| | ○ | 岩田みゆき | ※ | 日本史（近世） | | 日本史研究ⅢA･B、同演習ⅢA･B |
| | ○ | 小倉慈司 | | 日本史（古代） | | 日本史研究ⅠA･B、同演習ⅠA･B |
| | ○ | 菅頭明日香 | | 文化財科学 | | 日本考古学研究ⅡA･B、同演習ⅡA･B |
| | ○ | 小林和幸 | | 日本史（近代） | | 日本史研究ⅣA･B、同演習ⅣA･B |
| | ○ | 小宮　京 | | 日本史（現代） | | 日本史研究ⅤA･B、同演習ⅤA･B |
| | ○ | 二宮文子 | | 東洋史(インド中世･近世) | | アジア史における社会と文化研究A･B、同演習A･B |
| | ○ | 安村直己 | | 西洋史（近代・現代） | | 西洋近現代史研究ⅢA･B、同演習ⅢA･B |
| | ○ | 割田聖史 | | 西洋史（近代・現代） | | 西洋近現代史研究ⅡA･B、同演習ⅡA･B |
| 准教授 | ○ | 稲垣春樹 | ※ | 西洋史（近代） | 休 | 西洋近現代史研究ⅠA･B、同演習ⅠA･B |
| | ○ | 後藤里菜 | | 西洋史（中世） | | 西洋中世史研究 A･B、同演習 A･B |
| | ○ | 杉本陽奈子 | | 西洋史（古代） | | 西洋古代史研究 A･B、同演習 A･B |
| | ○ | 谷口雄太 | | 日本史（中世） | | 日本史研究ⅡA･B、同演習ⅡA･B |
| | ○ | 土肥歩 | | 東洋史（近代・現代） | | アジア史研究入門 A・B、同演習 A･B |
| 兼任講師 | | 伊藤一馬 | | | | アジア史における社会と経済研究A･B、同演習A･B |
| | | 梅村尚樹 | | | | グローバル・アジア史研究A･B、同演習A･B |
| | | 武田知己 | | | | 記録史料論研究 A･B、同演習 A･B |
| | | 田畑　潤 | | | | 東洋考古学研究 A（前期担当） |
| | | 戸田山　祐 | | | | 西洋政治史研究 A･B、同演習 A･B |
| | | 戸谷穂高 | | | | 日本史研究ⅥA・B、同演習ⅥA･B |
| | | 中澤寛将 | | | | 東洋考古学研究 B（後期担当） |
| | | 成川岳大 | | | | 西洋文化史研究 A・B、同演習 A･B |
| | | 西山暁義 | | | | 西洋政治史研究 A･B、同演習 A･B |
| | | 村上夏希 | | | | 日本考古学研究ⅡA･B、同演習ⅡA･B |

同一担当者の研究Ａ・Ｂと演習Ａ・Ｂは隔年開講を原則とする。
研究指導欄の※印は 2027 年度学生募集せず。
担当科目欄に休とある科目は 2027 年度休講。
兼任講師は2026年度実績。授業科目のみ担当。

比較芸術学専攻　博士前期課程

| 職名 | | 氏　　名 | | 研究指導教員の専門分野 | | 担　当　科　目 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 教　授 | ○ | 出　光　佐千子 | | 日本美術史 | | 日本･東洋美術史(2)研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ、比較芸術学研究法Ⅰ・Ⅱ |
| | ○ | 佐　藤　かつら | | 日本芸能史 | | 日本芸能論研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ、比較芸術学研究法Ⅰ・Ⅱ |
| | ○ | 津　田　徹　英 | ※ | 日本美術史 | | 日本・東洋美術史 (1) 研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ 比較芸術学研究法Ⅰ・Ⅱ |
| | ○ | 那　須　輝　彦 | | 西洋音楽史 | | 西洋音楽史(1)研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ、比較芸術学研究法Ⅰ・Ⅱ |
| | ○ | 広　瀬　大　介 | | 西洋音楽史 | | 西洋音楽史(2)研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ、比較芸術学研究法Ⅰ・Ⅱ |
| | ○ | 三　浦　哲　哉 | | 映像論 | | 映像文化論(1)研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ、比較芸術学研究法Ⅰ・Ⅱ |
| | ○ | 水　野　千　依 | | 西洋美術史 | | 西洋美術史(2)研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ、比較芸術学研究法Ⅰ・Ⅱ |
| 准 教 授 | ○ | 池　野　絢　子 | | 西洋美術史 | | 西洋美術史(1)研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ、比較芸術学研究法Ⅰ・Ⅱ |
| | ○ | 井　上　由里子 | ※ | 西洋演劇 | | 西洋演劇論研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ、比較芸術学研究法Ⅰ・Ⅱ |
| 兼任講師 | | 岩　城　賢太郎 | | | | 日本・東洋美術史(3) 研究Ⅱ、同演習Ⅱ |
| | | 小　林　亜起子 | | | | 西洋美術史(3)研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ |
| | | 近　藤　静　乃 | | | | 日本･東洋音楽史研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ |
| | | 高　崎　郁　子 | | | | 映像文化論(2)研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ |
| | | 高　橋　悠　介 | | | | 日本・東洋美術史(3) 研究Ⅰ、同演習Ⅰ |
| | | 髙　松　佑　介 | | | | 西洋音楽史(2)研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ |
| | | 成　田　麗　奈 | | | | 比較人文学研究法Ⅰ |
| | | 吉　田　真　樹 | | | | 比較人文学研究法Ⅱ |

研究Ⅰ・Ⅱと演習Ⅰ・Ⅱは隔年開講を原則とする。
氏名の前に○印の付いた教員は研究指導演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳも担当する。ただし、※印の付いた教員は2027年度学生募集せず。
担当科目欄に休とある科目は2027年度休講。
兼任講師は2026年度実績。授業科目のみ担当。

**青山学院大学大学院特別給付奨学金**

青山学院大学大学院特別給付奨学金は、青山学院大学大学院の活性化に向けて、大学院進学における金銭的負担の軽減を図り、本学学部生の本大学院への進学を促進することを目的とする給付奨学金の制度です。
※貸与奨学金ではありません。

**奨学給付額**

授業料年額の2分の1に相当する額が上限となる。
※給付額は入学後に決定されます（給付対象学生数により減額の場合あり）。

**給付方法**

入学時は入学手続時に所定の学費等を納付し、入学後に奨学金を給付します。なお、1年次後期以降は原則として学費請求時において、奨学金相当額の納付を免除することにより給付予定。

**給付期間**

入学後2年間（休学による給付休止期間を含む）

**申請期間**

出願受付期間に準ずる

**申請方法**

入学志願票の所定欄に記入

**採用者の決定**

選考結果の通知　入学試験合格発表時

**申請資格**

奨学金の給付を受けることができる学生は、本大学院研究科(理工学研究科を除く)への学内進学を希望する青山学院大学の学部に在学している者で、次に規定する全てを満たすものとする。

(1)　本大学院研究科の次のいずれかの課程への学内進学に係る被推薦資格を有する者であること。
イ　博士前期課程又は修士課程(修業年限が2年のものに限る。)
ロ　一貫制博士課程
ハ　専門職学位課程(修業年限が2年のものに限る。)

(2)　2026年4月1日において、当該基準日の属する年度の末日までに卒業する見込みが立つ者であること。

(3)　2026年5月1日において、在学する学科における成績上位者15パーセント以内の者であること。

※　上記「申請資格（3）」の成績要件を満たしているか事前に確認を希望する場合は、出願期間前に余裕をもって、所属学部の教務課（学務課）窓口までお問い合わせください。
※　本学及び学校法人青山学院における他の奨学金の給付を重複して受けることはできません。
※　詳細は「青山学院大学大学院特別給付奨学金規則」に規定

出願資格【C：内部進学】以外で出願した場合、青山学院大学大学院特別給付奨学金は申請できませんのでご注意ください。

# 博士後期課程　〈一般入試〉

## 募集人員

| | |
|---|---|
| 英米文学専攻 | 3名 |
| フランス文学・語学専攻 | 2名 |
| 日本文学・日本語専攻 | 2名 |
| 史学専攻 | 4名 |
| 比較芸術学専攻 | 2名 |

## 出願手続

**願書受付期間**

**春季（2027年2月）実施分：2027年1月 6日(水)～1月 8日(金)（受付最終日消印有効）**

**※海外から郵送の場合は、出願期間内に到着するようお願いします。**

1. 出願は、**すべて郵送受付とします。**
   出願の際は、出願書類および入学検定料の「振込通知書」、「取扱明細書」または「収納証明書」を角形2号封筒（240×332㎜）に入れ、郵便局窓口で簡易書留･速達郵便扱いの手続きをして郵送してください。
   封筒の表には、必要事項を記入した所定の出願用封筒表紙（本学所定用紙）を貼付してください。
2. 出願受付後、受験票を本人宛にお送りします。
   受付事務・郵便事情等により受験票の返送が多少遅れることがあります。なお、入学試験日の３日前までに受験票が未着の場合は学務部教務課（文学研究科担当）に問い合わせてください。
3. 出願書類は、黒のボールペンで記入してください。（消せるペンは不可）
4. **一旦受け付けた出願書類、入学検定料は返還しません。**
5. 書類・入学検定料不備のものおよび受付最終日を過ぎた消印のものは受理せず返送します。

## 出願資格

下記のいずれかに該当し、かつ、受験を希望する専攻か、または同系列の専攻を修了している者。

1. 修士の学位又は専門職学位を有する者及び 2026 年度 3 月取得見込みの者
2. 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2026 年度 3 月取得見込みの者
3. 文部科学大臣の指定した者
4. 日本において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2026 年度 3 月取得見込みの者
5. 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時に 24 歳に達したもの

注意1：上記5により出願を希望する者は、各研究科で個別の入学資格審査を受ける必要があります。事前に学務部教務課（文学研究科担当）へ問合せのうえ、2026年11月20日(金)までに申請に必要な書類を提出してください。

注意2：その他の注意事項

・史学専攻
本学大学院史学専攻修士課程修了者、博士前期課程修了者および修了見込者以外の志願者は、学務部教務課（文学研究科担当）をとおして、出願時までに指定した日時に史学専攻教授による面接を受けてください。

・比較芸術学専攻
本学大学院比較芸術学専攻博士前期課程修了者、同修了見込者、史学専攻修士課程修了者、同博士前期課程修了者および同修了見込者以外の志願者は、学務部教務課（文学研究科担当）をとおして、出願時までの指定した日時に、研究指導を希望する比較芸術学専攻教員による面接を受けてください。

## 出願書類

1. 入学志願票（本学所定用紙）[ ①および② ]
   必ず①，②とも提出してください。
2. 写真票・宛名ラベル用紙 （本学所定用紙）
   必要事項を記入のうえ写真票・宛名ラベル用紙をそれぞれ切り取り線で切り離して提出してください。
   宛名ラベル用紙には送付先住所・氏名・志願する専攻を明記してください。このラベルを使用して、志願者に受験票を送付し、合格発表時には、合格者に入学手続書類を郵送します。

**「1.入学志願票」および「2.写真票」にある選択受験科目欄については、下表に示す「選択受験科目」を必ず記入してください。場合により免除されることがありますが、この場合の記入は不要です。**

| 志願する専攻 | 課程・試験種別 | 選択受験科目 |
|---|---|---|
| 英米文学 | 博士後期課程一般入試 | ①**第二外国語**…「ドイツ語」「フランス語」「スペイン語」のうち１つ。<br>②**専門知識**…「英文学」「米文学」「英語学」「英語教育学・コミュニケーション」のうち指導を希望する教員の専門分野[42ページ「教員組織」参照]と同じ分野１つ。 |
| 日本文学・日本語 | 博士後期課程一般入試 | **外国語**…「英語」「日本語」のいずれか１つ。 |
| 史学 | 博士後期課程<br>一般入試（筆記試験受験者のみ） | **外国語Ⅱ**…「ドイツ語」「フランス語」「ロシア語」「スペイン語」「中国語」「韓国語」「古文書」「日本語」のうち１つ。 |
| 比較芸術学 | 博士後期課程<br>一般入試（筆記試験受験者のみ） | **外国語Ⅱ**…「フランス語」「ドイツ語」「イタリア語」「古文書」のうち１つ。 |

3. 写真2枚（タテ4cm×ヨコ3cm、カラー、入学志願票および写真票に貼付）
   ＊入学手続の際に別途提出する学生証用の写真も、出願時と同じ写真を提出
4. 入学検定料の「取扱明細書」または「収納証明書」（35ページ「入学検定料」参照）を、貼付用紙（本学所定用紙）に貼り付け提出してください。
5. 出身大学または大学院の ①卒業(見込)または修了(見込)証明書 ②成績証明書
   ＊証明書原本を提出してください。（コピー不可）
   ＊証明書が日本語または英語でない場合は、公的機関による証明を受けた日本語または英語の訳文を付してください。
   ＊中国の大学を卒業した者は、卒業証明書の他に「学位取得証明書」も併せて提出してください。
   原本が中国語で記載されている場合、「原本（中国語）」＋「翻訳（日本語もしくは英語）」＋「 翻訳が正しいことを証明する 公的な機関による公証書」をご提出ください。公的な機関による公証書は、中国国内の各地方の公証処（各地方の司法局に認定された機関）において行ってください。中華人民共和国駐日本国大使館および総領事館は、中国国内で発行された各種証明書のコピーと原文一致、翻訳文と原文一致の公証を発行しません。公証手続きには相当な時間を要することが想定されますので、早めに手続きを開始するようお願いします。
   ※証明書が日本語、英語で記載されている場合は、原本のみの提出で結構です。
   出身大学の卒業（見込）証明書及び成績証明、学位取得証明書の提出の代わりにCHSI（中国高等教育学生信息網）発行の認証書の提出も認めます。
   出願書類には印刷した証明書を同封し、かつ電子データの認証書が出願期間内にCHSIから下記メールアドレスへ電子メールにて直送されるよう、手配してください。電子データは、出願期間までに、CHSIから本学に直接届くものに限り有効とします。印刷した認証書のみの提出や、志願者等による電子メールの転送は出願書類として認められません。認証が行われるまでに時間を要す場合があるため、早めに手続を行ってください。
   【電子認証報告メール送信先】青山学院大学文学研究科担当：in-bungaku@aoyamagakuin.jp

＊改姓等により、証明書記載氏名が現在の氏名と異なる場合は、志願者にかかわる証明書として確認できませんので、氏名変更(改姓等)の事実が確認できる証明書(戸籍抄本等)を提出してください。

＊最終学歴の証明書のみ提出してください。

＊本学大学院出身者の証明書は学務部教務課で代理発行するため、提出不要です。

6. 大学改革支援･学位授与機構に学位を申請して学位を取得した者または学位取得見込みの者は、次の証明書を提出してください。(該当者のみ)

出身校の修了(見込)証明書、成績証明書、学位取得証明書または学位申請にかかわる証明書

7. 外国籍者は、パスポート（顔写真ページ）のコピーを提出してください。

8. 研究計画書（以下の入試志願者のみ提出）

・英米文学専攻博士後期課程〈一般入試(春)〉

本学大学院英米文学専攻博士前期課程修了者、および2026年度3月修了見込み者のうち、GPA3.65以上（在学生は出願した年度の前期終了時点、修了生は修了時点で算出）で、修了方法を修士論文の提出とした者は英語、専門知識の筆記試験を免除し所定の研究計画書の提出に代えることができます。（本学所定用紙）を使用し、提出してください。

研究計画書については評価を行いますが、入学後、専攻の承認を得れば変更は可能です。

・日本文学・日本語専攻博士後期課程〈一般入試〉

（本学所定用紙）[ ①および② ]を使用し、必ず①，②とも提出してください。記述はすべて欄内に収めるようにしてください。研究計画書については評価を行いますが、入学後、専攻の承認を得れば変更は可能です。

9. 修士論文

博士後期課程を志願する者は、他の出願書類と一緒に､下表の提出部数コピーした修士論文を送付してください。返却しないので、必ずコピーしたものを提出してください。なお、同封できない場合は、他の出願書類とは別に送付してください（1月8日（金）消印有効、簡易書留・速達郵便扱いとし、封筒の表には、必要事項を記入した出願用封筒表紙（本学所定用紙）を貼付してください）。

ただし、各専攻ごとに以下の通り免除します。

・英米文学専攻

本学大学院博士前期（修士）課程を修了した者（2026年度修了見込者を含む）が同一専攻の博士後期課程に出願する場合、提出不要ですが、英米文学専攻博士前期課程修了者および2026年度3月修了見込み者のうち、GPA3.65以上（在学生は出願した年度の前期終了時点、修了生は修了時点で算出）で、修了方法を修士論文の提出とした者のうち、英語、専門知識の筆記試験の免除を希望する場合は修士論文の提出が必要です。

・フランス文学・語学専攻

本学大学院博士前期（修士）課程を修了した者（2026年度修了見込者を含む）が同一専攻の博士後期課程に出願する場合、提出不要です。

・日本文学・日本語専攻、史学専攻、比較芸術学専攻

本学大学院博士前期（修士）課程を2026年度修了見込者が同一専攻の博士後期課程に出願する場合に限り提出不要ですが、2025年度以前に修了した者は提出が必要です。

| 志願する専攻・試験種別 | 修士論文<br>提出部数 | 注意事項 |
|---|---|---|
| 英米文学<br>〈一般入試〉 | 2部 | 既に修士の学位を有する者は、修士論文に相当する新たな論文（提出済の修士論文を書き直したものも含む）を2編（1編につきコピー2部）まで提出することができます。修士論文が日本語の場合、A4版ダブルスペース10枚程度の英文アブストラクトを同時に提出してください。 |
| フランス文学・語学<br>〈一般入試〉 | 3部 | 2025年度以前に大学院博士前期(修士)課程を修了した者は、修了後の研究成果を示す論文(提出済の修士論文を書き直したものも含む）を2編まで提出することができます（1編につきコピー3部を提出）。 |
| 日本文学・日本語<br>〈一般入試〉 | 3部 | 既に修士の学位を有する者は、学位取得後の研究がわかる論文（コピー3部）を修士論文と併せて提出することが望ましい（本学日本文学・日本語専攻博士前期課程を2025年度以前に修了した者も提出することが望ましい）。<br>なお、修士論文が外国語の場合、4,000字程度の日本語要旨を同時に提出してください。 |
| 史学<br>〈一般入試〉 | 2部 | 2025年度以前に大学院博士前期(修士)課程を修了した者は、修了後の研究がわかる論文（コピー2部）を修士論文と併せて提出してください。（本学史学専攻博士前期課程を2025年度以前に修了した者も提出が必要です） |
| 比較芸術学専攻<br>〈一般入試〉 | 2部 | 修士論文は美術史学、音楽学、演劇映像学のいずれかの分野に関するものとします。2025年度以前に大学院博士前期（修士）課程を修了した者は、修了後の研究がわかる論文（コピー2部）を修士論文と併せて提出してください（本学大学院文学研究科比較芸術学専攻および史学専攻博士前期課程において芸術史に関する修士論文を執筆し、2025年度以前に修了した者もこれらの提出が必要です）。 |

10. 日本語能力試験（N1）の「合格結果通知書」または「認定結果及び成績に関する証明書」の原本
（以下の入試志願者のみ提出）
・日本語を母語とせず日本文学・日本語専攻を志願する者

※原本をご提出ください。（コピー不可）
※公益財団法人日本国際教育支援協会及び独立行政法人国際交流基金が実施している日本語能力試験N1レベルの「合格結果通知書」または「認定結果及び成績に関する証明書」の原本を提出してください。ただし、日本の大学を卒業した者、日本の大学院を修了した者または修了見込みの者は、提出する必要はありません。

～出願書類の記入、作成にあたっての注意～

・志望動機・研究計画書などの記入や作成にあたっては、志願者自身が作成した文章を提出してください。
人工知能等が自動生成した文章や他者が作成した文章の提出を禁じます。

・入学後であっても、事実に反する記載が判明した場合は入学を取り消します。

## 博士後期課程　出願書類　（必ず本文で確認してください）

| 出願書類 ＼ 専攻・試験種別 | 入学志願票 | 写真2枚（入学志願票・写真票に貼付） | 写真票・宛名ラベル用紙・受験票 | 修了（見込）証明書 | 成績証明書 | 研究計画書 | 修士論文（コピー） | 日本語能力試験（N1）の「合格結果通知書」または「認定結果及び成績に関する証明書」の原本 | 収納証明書（所定用紙に貼付） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 英米文学〈一般入試〉 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ＊ | 2部 | | ○ |
| フランス文学・語学〈一般入試〉 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 3部 | | ○ |
| 日本文学・日本語〈一般入試〉 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 3部 | ※ | ○ |
| 史学〈一般入試〉 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 2部 | | ○ |
| 比較芸術学〈一般入試〉 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 2部 | | ○ |

注1）提出書類については、必ず本文記載内容を確認してください。
注2）○印・部数・枚数のある書類が必要書類です。
注3）外国籍者は33ページ 本文7を参照してください。
注4）※日本文学・日本語専攻出願者のうち、日本語を母語としない者のみ提出してください。
　　ただし、日本の大学を卒業した者、日本の大学院を修了した者または修了見込みの者は、
　　提出する必要はありません
注5）写真は、入学手続時に、出願時と同一の写真データ（jpg または png 形式）をアップロードしていただきます。そのため、写真のデータ版もあらかじめ取得・保管しておいてください。

＊本学大学院英米文学専攻博士前期課程修了者、及び2026年度3月修了見込み者のうち、GPA3.65以上（在学生は出願した年度の前期終了時点、修了生は修了時点で算出）で、修了方法を修士論文の提出とした者は英語、専門知識の筆記試験を免除し所定の研究計画書の提出に代えることができます。また、この場合は修士論文の提出が必要です。

## 入学検定料

**＜博士後期課程志願者＞**

**35,000円**

1. コンビニエンスストア、クレジットカードのいずれかにより支払ってください。
　願書受付期間を過ぎてからは振り込みできませんのでご注意ください。
　　博士後期課程　一般入試
　　**博士後期課程入試用 35,000円**
　②所定の支払方法に沿って手続きしてください。（次ページ以降参照）
2. 「収納証明書」を、貼付用紙（**本学所定用紙**）に貼付し、出願書類に同封してください。
3. **出願受付後、入学検定料は返還いたしません。振り込んだが出願しなかった場合は、学務部教務課（文学研究科担当）にて返金の手続をしてください。**

# コンビニ端末での入学検定料支払方法

## 下記のコンビニ端末にてお支払いください

**1 お申込み**

### セブン-イレブン マルチコピー機

https://www.sej.co.jp/services/multicopy

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。

TOP画面の「**学び・教育**」よりお申込みください。

学び・教育 → 入学検定料等支払

### LAWSON Loppi / MINISTOP Loppi

https://www.lawson.co.jp　https://www.ministop.co.jp

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。

TOP画面の「**各種サービスメニュー**」よりお申込みください。

「各種申込(学び)」を含むボタン → 学び・教育・各種検定試験 → 大学・短大、専門、小・中・高校等お支払い

お申込みの大学 をタッチし、申込情報を入力して「**払込票／申込券**」を発券ください。

＊画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

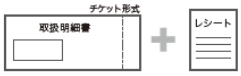
**2 お支払い**

①コンビニの**レジ**でお支払いください。

端末より「**払込票**」(マルチコピー機)または「**申込券**」(Loppi)が出力されますので、
**30分以内にレジにて**お支払いください。

②お支払い後、**チケット**と**レシート**の2種類をお受け取りください。

「**取扱明細書**」(マルチコピー機)または「**払込受領証**」(Loppi)。

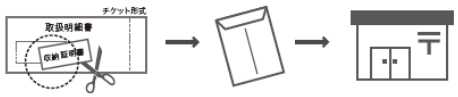



＊お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。
＊お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。
＊すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

| | | |
|---|---|---|
| 払込手数料(税込) | 入学検定料が5万円未満 | 605円 |
| | 入学検定料が5万円以上 | 825円 |

**3 出願**

「**取扱明細書**」または「**払込受領証**」の
「**収納証明書**」部分を切り取り、
入試要項などの指示に従って郵送してください。




貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある欄は使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

【操作などのお問合わせ先】学び・教育サポートセンター　https://e-apply.jp/　※コンビニ店頭ではお応えできません。

# クレジットカードでの入学検定料支払方法

**24時間・365日いつでも支払いOK!**

クレジットカードを利用して入学検定料のお支払いが可能です。 VISA JCB NICOS

インターネット申込 ～ クレジット決済

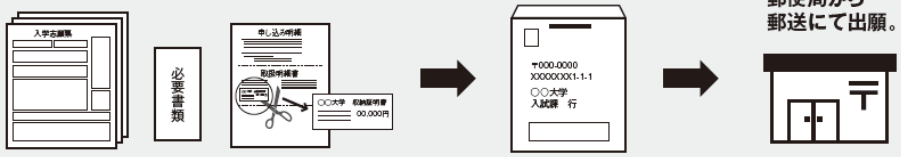
**PCで下記にアクセス**

**https://e-apply.jp/e/gs-aoyama**

| | |
|---|---|
| 1. トップページ | 「申し込む」ボタンをクリック |
| 2. 研究科選択 | 研究科を選択してください。 |
| 3. 入試選択 | 受験される入試を選択して「次へ」ボタンをクリック |
| 4. 留意事項 | 留意事項の内容を確認・同意して「次へ」ボタンをクリック |
| 5. 基本情報入力 | 申込者本人の基本情報を入力し「個人情報取扱方法」に同意し「次へ」ボタンをクリック |
| 6. 申込内容確認 | 申込された情報を確認し、問題なければ「申込みする」ボタンをクリック |
| 7. 受付番号確認 | 受付番号（12桁）を控え、「引き続き支払う」ボタンをクリック<br>（登録されたメールアドレスにも通知されます。） |
| 8. クレジットカード情報入力 | 支払に利用するクレジットカード番号（16桁）等必要な情報を入力し、「次へ」をクリック<br>*お支払いされるカードの名義人は申込者本人以外でも構いません。 |
| 9. 決済完了 | 完了後に通知されるメールアドレスに記載のURLよりログインいただき、取扱明細書をプリントアウトしてください。<br>*メール通知が届かない場合は、TOPページの「申込内容を確認する」ボタンをクリックし、「受付番号（12桁）」「（登録時の）メールアドレス」「生年月日」でログインしてください。 |

出願

印刷した「収納証明書」と必要書類を、出願用封筒に入れる。




**【注意事項・よくあるお問合せ】**

- 出願期間を入試要項でご確認のうえ、出願に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日は23:59までにカード決済を完了させてください。
- 入学検定料の他に、払込手数料（税込）が別途かかります。
  払込手数料（税込）：30,000円未満…手数料 664円、30,000円以上50,000円未満…手数料 1,041円、50,000円…手数料 1,163円
- クレジットカードの名義人は、申込者本人以外でも構いません。但し、基本情報入力画面では、必ず申込者本人の情報を入力してください。
- メール通知が届かない場合は、TOPページの「申込内容を確認する」ボタンをクリックし、「受付番号（12桁）」「（登録時の）メールアドレス」「生年月日」でログインしてください。
- 一度お支払された入学検定料は、出願後は一切返金できませんのでご注意ください。
- カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。

**「クレジットカードでの入学検定料納入」について不明点がある場合は、トップページの「はじめに」から「お問い合せ先」をご覧頂き、「学び・教育サポートセンター」までお問い合わせください。**

## 入学試験日・合格発表日

### 博士後期課程＜一般入試＞　全専攻共通

（英米文学、フランス文学・語学、日本文学･日本語、史学、比較芸術学）

| 専攻 | 種別 | 試験日 | 合格発表日時 |
|---|---|---|---|
| 英米文学<br>フランス文学・語学<br>日本文学・日本語<br>史学<br>比較芸術学 | 一般入試 | **2027年2月20日（土）** | **2027年2月26日（金）13:00** |

## 試験科目・試験時間割

英米文学専攻〈一般入試〉

英語　（英文読解・英語小論文・和文英訳）
第二外国語　（ドイツ語、フランス語、またはスペイン語のいずれか１つを選択し、志願票・写真票の所定欄に明記してください。ドイツ語は独和辞書、フランス語は仏和辞書、スペイン語は西和辞書の使用を許可します。ただし、電子辞書は使用できません。）
専門知識　（英文学、米文学、英語学、英語教育学・コミュニケーションのうち、指導を希望する教員の専門分野[42ページ「教員組織」参照]と同じ分野を１つ選択し、志願票・写真票の所定欄に明記してください。）
修士論文審査　（33ページ参照）
面接
（備考）本学大学院英米文学専攻博士前期課程修了者、及び2026年度3月修了見込み者のうち、GPA3.65以上（在学生は出願した年度の前期終了時点、修了生は修了時点で算出）で、修了方法を修士論文の提出とした者は英語、専門知識の筆記試験を免除します。ただし、第二外国語、面接試験は受験しなければなりません。

| | | |
|---|---|---|
| 2月20日（土） | 9:30～11:30 | 英語 |
| | 12:00～13:00 | 第二外国語 |
| | 14:00～15:30 | 専門知識 |
| | 16:30～ | 面接 |

フランス文学・語学専攻〈一般入試〉

フランス文学・語学Ⅰ　（大学院で用意する仏々辞書の使用を許可します）
フランス文学・語学Ⅱ　（大学院で用意する仏々辞書の使用を許可します）
第二外国語　（英語）辞書の使用を許可します。ただし、電子辞書は使用できません。
修士論文審査　（33ページ参照）
面接　（フランス語による質疑応答を含む）

| | | |
|---|---|---|
| 2月20日（土） | 9:30～11:00 | フランス文学・語学Ⅰ |
| | 11:30～13:00 | フランス文学・語学Ⅱ |
| | 14:00～15:00 | 第二外国語 |
| | 15:30～ | 面接 |

日本文学・日本語専攻〈一般入試〉

外国語　　（英語。ただし外国人の方（日本語を母語としない方）は日本語を選択してください。）
志願票・写真票の所定欄に英語または日本語と明記してください。
英語試験のみ英和辞書の使用を許可します。ただし、電子辞書は使用できません。

修士論文審査（33ページ参照）

面　　接

| | | |
|---|---|---|
| 2月20日(土) | 12:00～13:00 | 外国語 |
| | 15:00～ | 面接 |

史学専攻〈一般入試〉

外国語Ⅰ及びⅡ

外国語Ⅰ（英語）辞書の使用を許可します。ただし、電子辞書の使用はできません。

外国語Ⅱ（ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、中国語、韓国語）いずれか1つを選択してください。ただし、日本史を専攻しようとする者は「古文書」を、外国人留学生は「日本語」をもってこれにかえることができます。外国人留学生が「日本語」ではなく、上記の外国語を選択することもできます。「古文書」と「日本語」を除き、辞書の使用を許可しますが、電子辞書の使用はできません。

修士論文審査　　（33ページ参照）

面接

（備考）本学大学院史学専攻修士課程修了者、博士前期課程修了者および修了見込者は外国語Ⅰ及びⅡの試験を免除します。ただし、面接試験は受験しなければなりません。

| | | |
|---|---|---|
| 2月20日(土) | 11:30～13:00 | 外国語Ⅰ及びⅡ |
| | 15:00～ | 面接 |

比較芸術学専攻〈一般入試〉

外国語Ⅰ及びⅡ

外国語Ⅰ（英語）辞書の使用を許可します。ただし、電子辞書の使用はできません。

外国語Ⅱ（フランス語、ドイツ語、イタリア語、古文書のいずれか1つを選択してください。フランス語とドイツ語とイタリア語については辞書の使用を許可します。ただし、電子辞書の使用はできません。）

修士論文審査　　（33ページ参照）

面接

（備考）本学大学院比較芸術学専攻博士前期課程修了見込者、史学専攻修士課程修了者、同博士前期課程修了者および同修了見込者のうち、芸術史に関する修士論文を執筆した者についてはそれぞれ外国語Ⅰ（英語）と外国語Ⅱの試験を免除します。
ただし、面接試験は受験しなければなりません。

| | | |
|---|---|---|
| 2月20日(土) | 11:30～13:00 | 外国語Ⅰ及びⅡ |
| | 15:00～ | 面接 |

## 試験についての注意事項

1. 試験は青山キャンパスで実施します。
2. 試験室は試験当日、大学院掲示板(17号館2階 スチューデントセンター前)に掲示します。
3. 受験者は、試験開始10分前までに試験室に入室してください。筆記試験については、受験番号ラベルにより受験者ごとの着席位置が指定されていますので、自分の受験番号ラベルが貼付された位置に着席してください。
4. **試験開始から20分以上遅刻した者は欠席となり、当該試験科目以降すべての試験科目を受験することができません。**
5. 筆記試験は、出願した専攻・課程・出願資格ごとに課されているすべての試験科目を受験してください。１科目でも欠席した場合は棄権とみなします。免除されている科目は受験できません。また、筆記試験を課されていながらもその筆記試験科目を受験していない者は、面接（口述試験）を受験することはできません。
6. 辞書の使用が許可されている試験科目については、一般的な辞書の使用を許可します。ただし、電子辞書および用語辞典等の使用は認めません。試験科目のところに辞書使用可と書かれていない試験については辞書を使用することができません。
7. 試験当日は、受験票を必ずお持ちください。万一紛失した場合は、再発行しますので、学務部教務課（文学研究科担当）へ連絡(試験当日は来室)してください。

## 合格発表

1. 合格発表日時に大学ホームページ「大学院入学試験等に関するお知らせ」（下記URL）にて発表します。
   https://www.aoyama.ac.jp/admission/graduate/information/index.html

2. 合格者には、入学手続書類を郵送します。入学手続要項にしたがい、入学手続締切日までに手続を完了してください。

## 入学手続　入学手続はすべて郵送となります。（締切日消印有効）

### 入学手続締切日

入学手続締切日は以下のとおりです。

**博士後期課程〈一般入試〉**
**2027年 3月 5日(金)**

※合格者には、入学手続書類を郵送します。入学手続要項にしたがい、入学手続締切日までに手続を完了してください。
※（秋）実施分においては、第１次入学手続と第２次入学手続に分かれています。
第１次入学手続、第２次入学手続とも完了しない場合、合格は無効となりますのでご注意ください。
※入学手続に際して必要な入学時納入金については45ページの「学費等」を参照してください。

## 青山学院大学若手研究者育成奨学金

青山学院大学若手研究者育成奨学金は、青山学院大学大学院において、博士後期課程又は一貫制博士課程に優秀な学生を受け入れ、又は若い人材の本大学院への進学意欲若しくは本大学院に在学する学生の学修意欲を増進させ、もって本大学院の活性化を促進し、高度な専門性と研究能力を備えた社会に貢献する若手研究者の育成に資することを目的とする給付奨学金の制度です。　※貸与奨学金ではありません。

### 奨学金概要

**奨学金給付額**

年間授業料相当額

**給付方法**

各学年の学費納付時において、年間授業料相当額の納付を免除　※学費一部負担あり

**給付期間**

博士後期課程の標準修業年限

一貫制博士課程の3年次～5年次（3年間）

**申請期間**

各研究科の出願受付期間に準ずる

**申請方法**

入学志願票の所定欄に記入

**採用者の決定**

選考結果の通知　入学試験合否発表時

**申請資格**

2027年度以降において次の（1）～（3）のすべての条件を満たしている者

(1)　次のいずれかの条件を満たす者

イ　本大学院の博士後期課程に入学する者

ロ　本大学院の一貫制博士課程の3年次に編入学する者

ハ　本大学院の一貫制博士課程に在学する者で、3年次に進級するもの

ニ　本大学院の博士後期課程又は一貫制博士課程の3年次以上に転学する者

(2)　奨学金の給付を受ける初年度の初日の前日において、満30歳未満である者

(3)　国費留学生でない者

※「青山学院大学経済支援給付奨学金」「青山学院万代基金給付奨学金」等、他の学内給付奨学金との併給は不可です。

以上

【お願い】「博士前期課程・博士後期課程　全専攻共通事項」（45ページ以降）もご一読ください。

# 教　員　組　織
(2027年度予定)

◎教員組織は2027年度予定のものです。今後変更もあり得ることをご承知おきください。

英米文学専攻　博士後期課程

研究指導教員（研究指導演習Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ・Ⅷ・Ⅸ・Ⅹ担当者）
ただし、氏名の前に※印の付いた教員は 2027 年度学生募集せず。

| 専門分野 | 主な研究指導領域 | 職名 | | 氏　名 |
|---|---|---|---|---|
| 英文学 | イギリス小説 | 教　授 | | 麻　生　えりか |
| | イギリス小説 | 教　授 | | 久　野　陽　一 |
| | イギリス詩 | 教　授 | | 笹　川　　歩 |
| | イギリス小説 | 教　授 | | 田　中　裕　介 |
| | イギリス詩 | 教　授 | | 伊　達　直　之 |
| | イギリス小説 | 教　授 | | 松　井　優　子 |
| 米文学 | アメリカ劇 | 教　授 | ※ | 外　岡　尚　美 |
| | アメリカ文学・文化 | 教　授 | | KNIGHTON,Mary A. |
| | アメリカ小説 | 教　授 | | 西　本　あづさ |
| | アメリカ文学・文化 | 教　授 | | 結　城　正　美 |
| | アメリカ小説 | 教　授 | | 若　林　麻希子 |
| | アメリカ詩 | 准教授 | ※ | 来　馬　哲　平 |
| | アメリカ文学・文化 | 准教授 | | 齊　藤　弘　平 |
| 英語学 | 統語論 | 教　授 | | 葛　西　宏　信 |
| | 英語学 | 教　授 | | 髙　橋　将　一 |
| | 英語史 | 教　授 | ※ | 寺　澤　　盾 |
| | 音声学 | 教　授 | | 中　村　光　宏 |
| | 音韻論 | 教　授 | | 横　谷　輝　男 |
| | 心理言語学・第二言語習得 | 准教授 | | THOMPSON, Colin J. |
| 英語教育学・コミュニケーション | 英語教育論 | 教　授 | | 飯　田　敦　史 |
| | 通訳・映像翻訳 | 教　授 | | 稲　生　衣　代 |
| | 英語語用論 | 教　授 | ※ | 小野寺　典　子 |
| | 英語教育 | 教　授 | ※ | DIAS,Joseph V. |
| | 初等英語教育学 | 教　授 | | 長　沼　君　主 |
| | 通訳・翻訳 | 教　授 | ※ | 長　沼　美香子 |
| | 心理言語学・非言語コミュニケーション | 教　授 | | 野　邊　修　一 |
| | 英語教育 | 教　授 | | REIMANN, Andrew N. |

フランス文学・語学専攻　博士後期課程

研究指導教員（研究指導演習Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ・Ⅷ・Ⅸ・Ⅹ担当者）
ただし、氏名の前に※印の付いた教員は 2027 年度学生募集せず。

| 主な研究指導領域 | 職名 | | 氏　名 |
|---|---|---|---|
| 17 世紀フランス文学 | 教　授 | | 秋　山　伸　子 |
| 現代フランス思想 | 教　授 | | 阿　部　　崇 |
| 19 世紀フランス文学 | 教　授 | ※ | 荒　木　善　太 |
| 18 世紀フランス文学・フランス思想 | 教　授 | | 井　田　　尚 |
| 16 世紀フランス文学・フランス思想 | 教　授 | | 久保田　剛　史 |
| 20 世紀フランス文学・フランス思想 | 教　授 | | 濵　野　耕一郎 |
| 19 世紀フランス文学 | 教　授 | | 福　田　美　雪 |
| 20 世紀フランス文学 | 教　授 | | 和　田　惠　里 |
| フランス語学 | 准教授 | | 近　藤　野　里 |

日本文学・日本語専攻　博士後期課程

研究指導教員（研究指導演習担当者）
ただし、氏名の前に※印の付いた教員は 2027 年度学生募集せず。

| 主な研究指導領域 | 職名 | | 氏　名 |
|---|---|---|---|
| 近世文学 | 教　授 | | 大　屋　多詠子 |
| 上代文学 | 教　授 | | 小　松　靖　彦 |
| 近代文学 | 教　授 | | 佐　藤　　泉 |
| 日本語学 | 教　授 | | 澤　田　　淳 |
| 中古文学 | 教　授 | ※ | 高　田　祐　彦 |
| 近代文学 | 教　授 | | 武　内　佳　代 |
| 日本語教育学 | 教　授 | | 田　中　里　奈 |
| 近世文学・表象文化論 | 教　授 | | 韓　　京　子 |
| 近代文学 | 教　授 | | 日　置　俊　次 |
| 中国古典学 | 教　授 | | 山　崎　　藍 |
| 和歌文学 | 教　授 | | 山　本　啓　介 |
| 日本語学 | 准教授 | ※ | 大　江　元　貴 |
| 中世文学 | 准教授 | | 滝　澤　み　か |
| 中古文学 | 准教授 | | 山　口　一　樹 |

## 史学専攻　博士後期課程

研究指導教員（研究論文指導演習担当者）
ただし、氏名の前に※印の付いた教員は 2027 年度学生募集せず。

| 主な研究指導領域 | 職名 | | 氏　名 |
|---|---|---|---|
| 東洋史（古代・中世） | 教　授 | | 青　木　　敦 |
| 日本考古学（古代） | 教　授 | | 岩　井　浩　人 |
| 日本史（近世） | 教　授 | ※ | 岩　田　みゆき |
| 日本史（古代） | 教　授 | | 小　倉　慈　司 |
| 文化財科学 | 教　授 | | 菅　頭　明日香 |
| 日本史（近代） | 教　授 | | 小　林　和　幸 |
| 日本史（現代） | 教　授 | | 小　宮　　京 |
| 東洋史（インド中世・近世） | 教　授 | | 二　宮　文　子 |
| 西洋史（近代・現代） | 教　授 | | 安　村　直　己 |
| 西洋史（近代・現代） | 教　授 | | 割　田　聖　史 |
| 西洋史（近代） | 准教授 | ※ | 稲　垣　春　樹 |
| 西洋史（中世） | 准教授 | | 後　藤　里　菜 |
| 西洋史（古代） | 准教授 | | 杉　本　陽奈子 |
| 日本史（中世） | 准教授 | | 谷　口　雄　太 |
| 東洋史（近代・現代） | 准教授 | | 土　肥　　歩 |

## 比較芸術学専攻　博士後期課程

研究指導教員（研究指導演習Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ・Ⅷ・Ⅸ・Ⅹ担当者）
ただし、氏名の前に※印の付いた教員は 2027 年度学生募集せず。

| 主な研究指導領域 | 職名 | | 氏　名 |
|---|---|---|---|
| 日本美術史 | 教　授 | | 出　光　佐千子 |
| 日本芸能史 | 教　授 | | 佐　藤　かつら |
| 日本美術史 | 教　授 | ※ | 津　田　徹　英 |
| 西洋音楽史 | 教　授 | | 那　須　輝　彦 |
| 西洋音楽史 | 教　授 | | 広　瀬　大　介 |
| 映像論 | 教　授 | | 三　浦　哲　哉 |
| 西洋美術史 | 教　授 | | 水　野　千　依 |
| 西洋美術史 | 准教授 | | 池　野　絢　子 |
| 西洋演劇 | 准教授 | ※ | 井　上　由里子 |

# 博士前期課程・博士後期課程　全専攻共通事項

## 学費等

2027年度入学者学費等一覧（大学ウエブサイト）
以下大学ウエブサイト内、「大学院、専門職大学院入学者学費」を参照してください。
大学ウエブサイト：https://www.aoyama.ac.jp/life/expenses/battel_postgraduate/

入学手続納入金

（単位：円）

| | 英米文学 | ﾌﾗﾝｽ文学・語学 | 日本文学・日本語 | 史学 | 比較芸術学 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 入学時納入金合計 | **601,100** | **601,500** | **601,500** | **602,000** | **602,000** | （後期納入分を含まず） |
| 初年度納入金合計 | 912,200 | 913,000 | 913,000 | 914,000 | 914,000 | 後期納入分を含む |

博士前期課程〈博士前期課程入試（秋）〉

| | 英米文学 | ﾌﾗﾝｽ文学・語学 | 日本文学・日本語 | 史学 | 比較芸術学 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 第1次<br>入学手続納入金 | **290,000** | **290,000** | **290,000** | **290,000** | **290,000** | 入学申込金のみ<br>（第1次入学手続時に納入された入学申込金は、第2次入学手続時に入学金に振り替えます。） |
| 第2次<br>入学手続納入金<br>（納入金分割方式） | **311,100** | **311,500** | **311,500** | **312,000** | **312,000** | 通常の納入方式<br>（入学時納入金合計から第1次入学手続納入金を差し引いた金額）<br>（後期納入分は、入学後に納入） |
| 第2次<br>入学手続納入金<br>（納入金一括方式） | **622,200** | **623,000** | **623,000** | **624,000** | **624,000** | 後期納入分を併せて納入希望の場合<br>（初年度納入金合計から第1次入学手続納入金を差し引いた金額） |

博士前期課程〈博士前期課程入試(春)〉・　博士後期課程〈一般入試〉

| | 英米文学 | ﾌﾗﾝｽ文学・語学 | 日本文学・日本語 | 史学 | 比較芸術学 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 入学手続納入金<br>（納入金分割方式） | 601,100 | 601,500 | 601,500 | 602,000 | 602,000 | 通常の納入方式<br>（入学時納入金合計の金額）<br>（後期納入分は、入学後に納入） |
| 入学手続納入金<br>（納入金一括方式） | 912,200 | 913,000 | 913,000 | 914,000 | 914,000 | 後期分授業料を併せて納入希望の場合<br>（初年度納入金額の合計） |

注1）校友会費は、退学、除籍の場合には、校友会本部事務局に申請し返還をうけることができます。
注2）教育職員免許状（専修免許状）取得見込みで東京都教育委員会への大学一括申請の手続および専修免許状取得見込証明書の発行手続を希望する者（博士前期課程）は、手続を希望する年度に教職課程料として7,000円を納入してください（申請方法、納入時期等詳細については、入学後、「大学院要覧」にてご確認ください）。

備　考

1. 入学手続時に後期納入分を併せて納入することもできます。（通常は入学後に納入）
2. 今後、経済情勢に応じ、学費等の改定が行われた場合は、在学生にも新学費等を適用することがあります。
3. 本学の学部及び大学院博士前期(修士)課程出身者については次のとおりとします。

①入学金

博士前期課程

本学の学部卒業(見込)者・本学大学院博士前期(修士)課程修了（見込）者は、納入不要

博士後期課程

本学大学院博士前期（修士・専門職学位）課程修了（見込）者は、納入不要

②校友会費

本学出身者は納入不要

4. 授業料後払い制度について（博士前期課程のみ）

国による大学院修士段階における「授業料後払い制度」の利用を希望する方は、以下URLまたはQRコードより、申請要項を確認の上、**出願期間中に**必要な手続きを行ってください。

※外国人留学生（在留資格が「留学」の方）及び博士後期課程を志願する方は申請対象外です。

【申請要項ＵＲＬ】

https://www.aoyama.ac.jp/wp-content/uploads/2026/03/af_syougakukin_atobalai2027.pdf

【申請要項ＱＲコード】

## 入学辞退願提出について

本大学院の第２次入学手続を完了した後、やむを得ぬ事情により入学を辞退することになった場合、「入学辞退願」が2027年3月31日(水)17時までに受理されたものは、入学金を除く納入金を返還します。

(1)「入学辞退願」用紙の請求先・提出先

青山学院大学　学務部教務課（文学研究科担当）　〒150－8366　東京都渋谷区渋谷4－4－25

電話　03（3409）9527　（文学研究科担当）

(2)「入学辞退願」等の提出について

提出締切日時：2027年3月31日(水)17時（窓口閉室時間）

※郵送の場合は簡易書留で上記日時消印有効

提出書類　　：①「入学辞退願」（本学所定用紙）　②「振込金受取書」

## 英米文学専攻志願者への注意事項

入学後、専門分野によっては必要とされる外国語があることを承知しておいてください。

なお、本専攻博士後期課程入学試験では、第二外国語の筆記試験が課されます。

## 一般的注意事項

二重学籍等
本学学生は、他大学大学院および本学の他研究科または他専攻、並びに他大学および本学の学部と併せて在学することはできません。また、他大学大学院を修了または修了見込の者は、成績証明書および修了証明書または修了見込証明書を提出してください。

1. 障がいや疾病、怪我などにより受験及び修学上の合理的配慮が必要な場合、「障がいのある学生の受入れ方針」に基づき、受験時に合理的配慮を提供します。合理的配慮を希望する方は、出願期間前に学務部教務課文学研究科担当に問い合わせてください。なお、場合によっては健康診断書等の提出を求めることがあります。
2. 本大学院博士前期課程では既に他の大学院で修得した単位を本学の単位として認定する制度がありますので、希望者は申し出てください(ただし、入学年度の4月初頭に限ります)。
3. 卒業見込み・修了見込みで出願していた者で、2027年3月末日までに卒業または修了できなかった場合は、入学資格を満たせなかったことになりますので、入学手続を完了していても本大学院に入学することはできません。
4. 受験、入学手続などに関する問い合わせは、学務部教務課（文学研究科担当）[電話 03（3409）9527]にしてください。ただし、合否に関する問い合わせには一切応じません。
5. 英米文学専攻、フランス文学・語学専攻、日本文学・日本語専攻、史学専攻（いずれも博士前期課程）は下表のとおり専修免許状の課程認定を得ています。

| 専　攻 | 専修免許状の種類 |
|---|---|
| 英米文学専攻 | 中学校教諭専修免許状　（英語）<br>高等学校教諭専修免許状　（英語） |
| フランス文学・語学専攻 | 中学校教諭専修免許状　（フランス語）<br>高等学校教諭専修免許状　（フランス語） |
| 日本文学・日本語専攻 | 中学校教諭専修免許状　（国語）<br>高等学校教諭専修免許状　（国語） |
| 史学専攻 | 中学校教諭専修免許状　（社会）<br>高等学校教諭専修免許状　（地理歴史） |

6. 教育職員免許状や各種資格（司書教諭、司書、社会教育主事、学芸員）の取得に関する不明点については、出願前に教職支援センター[電話 03（3409）9634]に問い合わせてください。
7. 試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患し治癒していない者は、他の受験生への感染のおそれがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、病状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めたときは、この限りではありません。なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験などの措置、入学検定料の返還は行いません。
8. 大学院入学試験に関する情報は本学ウェブサイト下記URLでお知らせします。
   https://www.aoyama.ac.jp/admission/graduate/
9. 外国人留学生の在留資格「留学」取得に関する注意事項

   2027年2月に実施される試験を受験し合格した者で、在留資格がなく新たに取得する必要がある場合、在留資格取得手続きが入学までに間に合わない可能性があります。在留資格のない者は、2026年10月に実施される入試での出願を推奨します。

## 不正行為について

○　出願書類に関する不正行為について

出願書類への虚偽の記載や証明書等の偽造が確認された場合は、当該年度の入学試験の結果を無効とします。また、入学後であってもこれらの不正が確認された場合には、遡って入学を取り消すことがあります。この場合、提出された書類およびそれまでに納入された費用については返還しません。また、警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

○　試験時の不正行為について

試験時間中に下記に例示する行為を行った場合、または試験終了後に当該行為が確認された場合（入学後に判明した場合を含む）には、不正行為とみなされることがあります。また、試験時間中であっても、メガネ、マスク等の身に着けている物の確認を求める場合があります。

不正行為が確認された場合には、当該年度の入学試験の結果を無効とし、入学を取り消すことがあります（入学後においても遡って適用する場合を含む）。この場合、提出された書類およびそれまでに納入された費用は一切返還いたしません。不正行為に対しては厳正に対処するとともに、警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

（筆記試験）

- カンニング（カンニングペーパー、参考書、他の受験者の答案を見ること、他の人から答えを教わること等）をすること。
- 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、イヤホン、携帯音楽プレーヤー等を身に付けていること。
- 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、時計、携帯音楽プレーヤー等の音（着信、アラーム、振動音等）を鳴らすこと。
- 試験時間中に、問題冊子や解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- 試験時間中に、答えを教える等の他の受験者を利するような行為をすること。
- 試験時間中に、使用が認められている用具以外を机に置くこと。
- 試験開始の合図、もしくは試験監督者の試験開始の指示の前に問題冊子を開き、解答を始めること。
- 試験終了の合図、もしくは試験監督者の試験終了の指示の後に、筆記用具や消しゴムを持ち続けていたり、解答を続けていたりすること。
- 試験終了後、解答用紙を提出しないこと。

（面接試験・口述試験）

- 試験中に他の者と連絡をとりあうこと。
- 試験の録画・録音をすること、およびそれらを SNS 等のインターネット上へ掲載すること。
- 試験終了後に、これから当該試験を受験する他の受験者に試験の内容を伝えること。また、試験の内容を SNS 等のインターネット上へ掲載すること。

（共通）

- 試験室において、試験監督者、係員等の指示に従わないこと。
- 試験室において、他の受験者の迷惑となる行為および試験の運営の妨害となるような行為をすること。
- 志願者以外の者が、志願者本人になりすまして試験を受けること。
- その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

## 授業実施キャンパス・授業時間（授業科目配置時間帯）について

授業は、青山キャンパス（東京都渋谷区渋谷4－4－25）で実施します。

| 時限 | 第 1 時限 | 礼拝 | 第 2 時限 | 昼休み | 第 3 時限 | 第 4 時限 | 第 5 時限 | 第 6 時* |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 時間 | 9：00<br>～<br>10：30 | 10：30<br>～<br>11：00 | 11：00<br>～<br>12：30 | 12：30<br>～<br>13：20 | 13：20<br>～<br>14：50 | 15：05<br>～<br>16：35 | 16：50<br>～<br>18：20 | 18：30<br>～<br>20：00 |

*英米文学専攻・史学専攻は昼夜開講制ですので、昼間に加え、夜間（18：30以降）にも一部の授業が配置されています。夜間の課程ではありませんので、夜間のみまたは夜間と土曜日で希望する科目が履修できるわけではありません。夜間および土曜日の科目配置状況は、年度によって異なります。
フランス文学・語学専攻、日本文学・日本語専攻、比較芸術学専攻は夜間（18：30 以降）の授業はありません。また、土曜日の授業配置もまれです。なお、単位制をとっている研究指導演習科目および研究論文指導演習科目については、学生と教員の開講時の話し合いにより、曜日時限を決定します。

地の塩、世の光
The Salt of the Earth, The Light of the World
【青山学院スクール・モットー】

青山学院大学大学院
〒150-8366　東京都渋谷区渋谷 4-4-25
電話：03（3409）9527　学務部教務課（文学研究科）直通

青山キャンパス　アクセスマップ
https://www.aoyama.ac.jp/outline/campus/access.html

青山キャンパス　構内案内
https://www.aoyama.ac.jp/outline/campus/aoyama.html

2027年度

# 青山学院大学大学院文学研究科入学志願票 ①

| | | | |
|---|---|---|---|
| 出願資格（該当を○で囲む）<br>A 一般 ・ B 社会人向け ・ C 内部進学 ・<br>D 英語資格取得 ・ E クレジット・トランスファー | | 受験番号 | ※記入不要 |
| 志望する課程（○で囲む） ・ 専攻（記入） ・ 方式（○で囲む）<br>博士前期 ・ 博士後期 課程<br>文 学 研究科<br>専攻 | | 選択受験科目<br>*複数の分野または言語から選択の必要な専攻のみ記入 | （専門知識…選択する分野を記入）<br>↓<br>（外国語、第二外国語、外国語Ⅱ…<br>↓ 選択する言語を記入） |
| 博士前期課程入試(春)において、フランス文学・語学専攻を志願する場合のみ○で囲む | A方式 ・ B方式 | 大学院特別給付奨学金（P30）<br>（博士前期課程 出願資格【C:内部進学】のみ○で囲む）<br>給付を希望 | する ・ しない |
| | | 若手研究者育成奨学金（P41）<br>（博士後期課程対象者のみ○で囲む）<br>給付を希望 | する ・ しない |

| | | | |
|---|---|---|---|
| フリガナ<br>氏 名<br>（外国籍の方はアルファベットで記入） | 性別 | 本籍地<br>都・道・府・県<br>（外国籍の場合は国籍を記入） | 写真貼付<br>1. 4×3cm枠なし<br>2. 上半身正面脱帽<br>3. 最近3カ月以内撮影のもの<br>4. 全面糊付け<br>5. 裏面に氏名記入<br>6.カラー |
| 生年月日 年 月 日（ 歳） | | | |

現住所 〒 －

電話番号 （ ） 携帯電話番号 （ ）

メールアドレス

学歴（高等学校以降のすべての学歴を記入すること）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 高等学校（西暦） | | | 年 月 | 卒業 |
| 大学 | 学部 | 学科 | 年 月 | 入学 |
| 大学 | 学部 | 学科 | 年 月 | 卒業 ・ 卒業見込 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

職歴（非常勤・アルバイト・嘱託等は、記入の必要はない）

| | | | |
|---|---|---|---|
| （西暦） | 年 月 ～ | 年 月 | 退職 ・ 在職 |
| | 年 月 ～ | 年 月 | 退職 ・ 在職 |
| | | | |
| | | | |

本学出身者は必ず下欄を記入してください。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 学生番号 | | 演習担当者又は指導教員 | |

2027年度

# 青山学院大学大学院文学研究科入学志願票 ②

◎下記すべての項目について必ず記入すること。（但し、論文を書いていない場合は題目の記入不要。）

| | |
|---|---|
| 卒業論文題目 | |
| 修士論文等題目 | |

| |
|---|
| 学部における主な研究内容 |
| |
| |
| |
| |
| |

| |
|---|
| 研究科における研究内容（博士後期課程志願者のみ記入） |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |

| |
|---|
| 入学後の研究主題及び研究計画の概要 |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |

| | |
|---|---|
| 研究指導を希望する教員名（要項に記載された教員1名を記入） | |

| |
|---|
| 修了後の進路希望（具体的に記入すること） |
| |
| |

# 2027年度　青山学院大学大学院　写真票

| 受験番号 |
| --- |
| * |

*記入不要

| フリガナ |
| --- |
| 氏名 |

| 研究科 | 文　学　研究科 |
| --- | --- |
| 専攻 | 専攻 |
| 課程 | 博士前期・博士後期 |
| 選択受験科目 | |
| 出願資格 | A一般 ・ B社会人向け ・ C内部進学 ・ D英語資格取得 ・ Eｸﾚｼﾞｯﾄ･ﾄﾗﾝｽﾌｧｰ |
| 試験方式 | A方式 ・ B方式<br>博士前期課程入試(春)において、フランス文学･語学専攻を志願する場合のみ〇で囲む |

写真貼付欄

1.写真の裏面に専攻と氏名を記入のこと
2.全面糊付のこと
3.大きさは
ﾀﾃ4cm，ﾖｺ3cm
4.カラー写真のこと

〒□□□-□□□□

（住所）

（氏名）　様

| 研究科 | 専　攻 |
| --- | --- |
| 文　学 | 専攻 |

宛名ラベル用紙(1)

〒□□□-□□□□

（住所）

（氏名）　様

| 研究科 | 専　攻 |
| --- | --- |
| 文　学 | 専攻 |

宛名ラベル用紙(2)

# 2027年度　青山学院大学大学院　受験票

| 課　程<br>該当を〇で囲む | 博士前期課程 ・ 博士後期課程 |
| --- | --- |
| 出願資格<br>該当を〇で囲む | A:一般 ・ B:社会人向け ・ C:内部進学 ・ D:英語資格取得 ・ E:クレジット･トランスファー |
| 研究科 | 文学研究科<br>英米文学専攻　フランス文学･語学専攻<br>日本文学･日本語専攻　史学専攻　比較芸術学専攻 |
| 選択受験科目<br>*複数の分野または言語から選択の必要な専攻のみ記入 | （専門知識…選択する分野を記入）<br><br>（外国語、第二外国語、外国語Ⅱ） |
| 試験方式 | A方式 ・ B方式<br>博士前期課程入試(春)において、フランス文学･語学専攻を志願する場合のみ〇で囲む |
| *通信欄 | |

*記入不要

| 受験番号 | * |
| --- | --- |
| ﾌﾘｶﾞﾅ | |
| 氏　名 | |

1. 試験時間割は「大学院学生募集要項」を確認してください。
2. 試験室は試験当日、大学院掲示板(17号館2階 ｽﾁｭｰﾃﾞﾝﾄｾﾝﾀｰ前)に掲示します。
3. 試験当日は開始10分前までに試験室に入室してください。
4. 受験中は本票を机上においてください。

＊受付印

1)写真票には写真(ﾀﾃ4cm×ﾖｺ3cm、カラー)を貼付のうえ，宛名ラベル用紙･受験票と切り離して提出してください。
2)宛名記入ラベル用紙(1)，(2)は受験票および合否発表送付用です。
送付先住所を記入のうえ，2枚を切り離して提出してください。

# ①収納証明書 *コンビニエンスストア支払いもしくはクレジットカードでの支払いの場合 貼付用紙

◎枠内を記入してください。 【入学検定料】

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 研 究 科 | 文 学 研究科 | | 専　　攻 | 専攻 | |
| 受験番号<br>（記入不要） | | | 課　　程<br>〇で囲む | 博士前期 ・ 博士後期 | |
| フリガナ | | | 連絡先 | （　　） | |
| 氏　　名 | | | | | |

※連絡先には日中連絡がつきやすい電話番号を記入のこと

①「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」部分を切り取り、
はがれないように全面のり付けしてください。

**① 収納証明書 貼付欄**

はがれないように**全面のり付け**
してください。

支払方法（当てはまるものに〇をつけてください）

・コンビニ

・クレジット

英米（博士前期課程）
D英語資格取得者

| 受験番号 |
| --- |
| ※ 記入不要 |

氏名

**＊ 記入上の注意 ＊**

①所定の記入スペース内に収まるように記入すること。
②ワード等で作成・印刷した別紙をこの用紙に糊付けしたもの、あるいは糊付けしたものをコピーして提出することも可。ただし、糊付けする別紙は所定の記入スペースに収めること。
③手書きの場合はボールペンまたはペン書きとする（色は黒または青）。

**■取得している英語資格の種類（全員記入）**

出願資格を満たしている点数、級のもののみ記入すること。
出願後の点数または級および証明書年月の変更は認めません。

| 検定・試験名 | | 点数または級、スコア | 証明書年月（西暦記入） |
| --- | --- | --- | --- |
| 英検 | | | 受験回<br>年度第　回 |
| TOEIC ® | Listening & Reading | | 年　月 |
| | Speaking | | 年　月 |
| | Writing | | 年　月 |
| TOEFL iBT ® | | | 年　月 |
| IELTS | | | 年　月 |

# 英米文学専攻（博士前期課程） 研究計画書

**◆ 入学志願票②の「研究主題及び研究計画の概要」を大学院入学後どのように展開するかについて、その研究対象と研究方法、および分析の視点などそれぞれ関連づけて、具体的に述べなさい。**

英米（博士後期課程）
本学修了者、修了見込み者のうち、
GPA3.65以上の場合

| 受験番号 |
| --- |
| ※ 記入不要 |

氏名

**＊ 記入上の注意 ＊**

①所定の記入スペース内に収まるように記入すること。
②ワード等で作成・印刷した別紙をこの用紙に糊付けしたもの、あるいは糊付けしたものをコピーして提出することも可。ただし、糊付けする別紙は所定の記入スペースに収めること。
③手書きの場合はボールペンまたはペン書きとする（色は黒または青）。

# 英米文学専攻（博士後期課程） 研究計画書

**◆ 入学志願票②の「研究科における研究内容」と「研究主題及び研究計画の概要」を大学院入学後どのように具体的に展開するかについて、その研究対象と研究方法、および分析の視点などそれぞれ関連づけて、詳細に述べなさい。**

# 日本文学・日本語専攻 研究計画書 ①

| 受験番号 |
| --- |
| ※ 記入不要 |

**＊ 記入上の注意 ＊**

①所定の記入スペース内に収まるように記入すること。

②ワード等で作成・印刷した別紙をこの用紙に糊付けしたもの、あるいは糊付けしたものをコピーして提出することも可。ただし、糊付けする別紙は所定の記入スペースに収めること。

③手書きの場合はボールペンまたはペン書きとする（色は黒または青）。

<table>
<tr><td>出願課程を〇で囲む</td><td colspan="2">博士前期課程 ・ 博士後期課程</td><td>フリガナ</td><td></td></tr>
<tr><td>出願資格を〇で囲む</td><td colspan="2">A一般 ・ B社会人向け ・ C内部進学者<br>D英語資格取得者 ・ Eクレジット・トランスファー</td><td>氏 名</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">出身校および<br>出身学部・研究科<br>学科・専攻</td><td colspan="4">大学・大学院 学部・研究科 学科・専攻<br>（それぞれ〇で囲む）</td></tr>
<tr><td colspan="4">年 月 卒業 ・ 修了 / 卒業見込 ・ 修了見込<br>（それぞれ〇で囲む）</td></tr>
<tr><td>研究指導を希望する<br>教員名・分野</td><td colspan="2"></td><td>日本語を母語としない方</td><td>「日本語能力試験（N1）」<br>証明書年月（西暦記入） 年 月</td></tr>
</table>

**研究テーマ**（主題および副題）

**◆ これまでに進めてきた研究活動の概要または研究関心の所在について述べなさい。**

# 日本文学・日本語専攻 研究計画書 ②

◆ ①の概要または研究関心を大学院入学後どのように具体的に展開するかについて、その研究対象と研究方法、および分析の視点などについて、それぞれ関連づけて、具体的に述べなさい。

◆ あなたの研究テーマに関する代表的な先行研究を挙げ、それとあなたの研究計画との関係について説明しなさい。

郵　便

切　手

〒150-8366

東京都渋谷区渋谷４－４－２５

# 青山学院大学　学務部教務課
# 文学研究科　入試願書受付係　御中

（大学院入学試験・出願書類在中）

**出願期間中の消印有効**

**簡易書留**
**速　　達**

**（二つ折厳禁）**

| | |
|---|---|
| フリガナ | |
| 氏　名 | |
| 住　所 | □□□-□□□□<br>TEL.　　（　　） |
| 研究科・専攻 | 文　学　研究科　　専攻 |
| 課　程 | 博士前期課程　・　博士後期課程 |
| 入試種別 | 一般・社会人向け・　内部進学　・　英語資格取得者・ｸﾚｼﾞｯﾄ･ﾄﾗﾝｽﾌｧｰ |

※ 課程・入試種別：該当するものを〇で囲んでください

**原本返却について**

英語資格を証明する証明書は原本の提出を原則とします。ただし、原本が１部しかない等の理由で原本を提出できない場合は、ａまたはｂの方法で書類を揃えてください。

ａ：学務部教務課（文学研究科担当）窓口に原本を持参し、原本照合の手続をする

ｂ：原本返却の手続をする

原本返却の手続の方法

① 巻末の「証明書原本返却願」に必要事項を記入する

② 返却用の**「レターパックプラス」（赤色）**を用意し、返却先の宛名、郵便番号、住所、電話番号を「お届け先」欄に記入する

（注意事項）

- 「レターパックプラス」は、郵便局窓口等で各自購入してください。
- 「ご依頼主様保管用シール」は、はがさないでください。
- 原則として出願時に**証明書原本返却願**と**レターパックプラス**が同封されていた場合に限り、原本を返却します。不備・不足がある場合は返却請求の受付はできません。また、事後の請求には応じかねますのでご注意ください。
- 返却には１ヶ月程度かかります。
- 返却先住所は日本国内に限ります。
- **「レターパックライト」（青色）は使用できません。**

③ 「①」「②」を出願書類に同封する

※「レターパックプラス」は、２つ折りにして同封しても構いません。

英米文学専攻：英語資格取得者での出願者専用

# 証明書原本返却願

英語資格を証明する証明書の返却を希望する場合は太枠内に明記のうえ、返却用の「レターパックプラス」（赤色）を用意し、返却先の宛名・郵便番号・住所・電話番号を記入のうえ、出願書類と一緒に提出してください。なお、返却先住所は日本国内とします。証明書原本返却願と返却用の「レターパックプラス」の提出がない場合、原本が同封されていても返却しません。

| | |
|---|---|
| フリガナ | |
| 氏名 | |
| 研究科・専攻 | 文学研究科英米文学専攻 |
| 返却希望書類名 | |

大学使用欄

| | |
|---|---|
| 返却日 | |
| 送付控貼付欄 | |
| 備考 | |